

起工伺	副市長	総務部長	建設部長	下水道課長	建設係	検算	設計者	設計第215号	
								令和年月日	
								所属年度	令和7年度
合議								会計	
								款	
								項	
	<div>三次市畠敷町地内</div> <div>公共下水道事業（公07-4-6）畠敷3号マンホールポンプ設置工事書仕様</div>							目	
節									
工 事 概 要							起 工 理 由		
備考									

位置図



R7年度
島敷3号マンホールポンプ設置工事

数量総括表 (MP)

[illegible]

特 記 仕 様 書

第 1 章 総 則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、設計第215号 公共下水道事業(公07-4-6) 畠敷3号マンホールポンプ設置工事 に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 (令和6年8月 広島県)
 - ※土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載されている。
URL:<http://choutatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
 - ・その他関連規格類

第 2 節 中間検査

- 1 請負金額2,000万円以上の工事は、中間検査の対象とする。
- 2 中間検査の実施は、工事の主要工程等を考慮し、施工上の重要な変化点等で行うこととし、時期選定は監督職員が行う。
- 3 原則として、請負代金額が2,000万円以上2億円未満の工事は、中間検査を1回実施し、2億円以上の工事は2回実施する。

第 3 節 主任技術者の配置要件等

広島県共通仕様書1-1-3-2 現場代理人及び主任技術者又は監理技術者「5. 配置要件」及び「6. 誓約書」については、入札条件又は入札公告に定める配置技術者の兼務の要件に従うこと。

第 4 節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第 2 章 施工条件

第 1 節 工 程

1 関連する別途工事

工 事 名	公共下水道事業 管渠布設工事【開削4工区】
影 響 箇 所	市道八次52号線
他 工 事 の 内 容	圧送管布設及びマンホール設置

時 期 令和 7 年 8 月 から 令和 8 年 1 月（予定）

第 2 節 その他

1 用排水関係

- 1 隣接する土地，施設からの用排水については，事前に高さ等の調査を行い，従前の機能を損なわないようにすること。
- 2 農業用排水路の移設や仮水路を施工する際には，施工時期等について水路関係者と調整を行い実施すること。
- 3 工事により生じた排水を農業用排水路へ流す際は，水路関係者に承諾を得ること。

第 3 章 その他

- 1 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または，その内容に疑義が生じた場合は，監督職員の指示を受けること。
- 2 工事着手前に漁業組合と協議を行い，同意書等の承諾を得ること。
- 3 試験掘り箇所については監督職員と協議を行い決定すること。
- 4 本工事は週休 2 日制工事（受注者希望型）であり，「三次市週休 2 日制工事実施要領」に基づき実施すること。
- 5 工事期間中は、道路表面の状態をよく確認して適宜補修する等，適切な維持管理を行うこと。

目 次

	頁
第1章 総則	
第1節 一般事項	K-1
第2章 機器設備一般仕様	
第1節 共通事項	K-5
第3章 工事仕様	
第1節 工事一般仕様	K-8
第4章 機械設備工事	
第1節 水中汚水ポンプ	M-1
第2節 予旋回槽	M-3
第3節 配管・弁類	M-4
第4節 複合工等	M-5
第5章 電気設備工事	
第1節 受電・動力制御計装設備	E-1
第2節 運転方案	E-6
第3節 自動通報装置	E-7
第4節 据付配線工事	E-8

第 1 章 総 則

第 1 節 一 般 事 項

本仕様書は、「三次市 No. 10（畠敷3号）マンホールポンプ」に適用する。

1. 1. 1 材料（製品）

本工事を施工する材料については、全て請負人が調達することを原則とする。又、主要材料（製品）の購入に当っては、その詳細仕様（塗装関係含む）、及び供給業者についての承認願いを監督員に提出し、その承認を得る事。

1. 1. 2 マンホールポンプ取付

マンホールポンプ取付にあたっては、取付前に取付承認図を提出し、監督員の承認を受けなければならない。また、マンホール躯体の強度を損なわないよう細心の注意をはらい、監督員の指示の基に取付を行う事。

1. 1. 3 法令、条例等の適用、諸官庁への手続き

この工事に関係ある法令、条例等はよくこれを厳守し、関係諸官庁、電力会社、N T T等に対する必要な届出、手続き等は請負人がこれを代行する。
又、諸官庁、電力会社、N T Tと常に密接な連絡を保ち使用開始に支障のないようにすること。ただし、これに要する費用は、すべて請負人の負担とする。

1. 1. 4 準拠規格

本設備に使用する機器材料は、下記の現行標準規格等に準拠するものとする。ただし、特に指定ある場合はこの限りではない。

- （１）下水道マンホールポンプ施設技術マニュアル（下水道新技術機構）
- （２）小規模汚水中継ポンプ場設計要領（案）
- （３）日本工業規格（JIS）
- （４）電気規格調査会標準規格（JEC）
- （５）日本電機工業会標準資料（JEM）
- （６）日本電線技術委員会標準資料（JCS）
- （７）電気設備技術基準（経済産業省令）
- （８）内線規定（電気技術基準調査委員会編）
- （９）電気設備工事共通仕様書（国土交通省営繕部監修）

(10) 有線電気通信法

(11) 小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説

1.1.5 実施工程表及び施工計画書

着工に先立ち実施工程表及び施工計画書を作成し、監督員の承認を受けなければならない。尚、実施工程及び施工計画に変更の必要が生じたときはすみやかに監督員に申請し承認を受けること。

1.1.6 承認図の提出

契約後速やかに本市に担当技術者を派遣し、本仕様書及び図面に基づいて設計製作に関し詳細なる打合せをすること。技術的打合せの結果、本工事で使用する機器、機材及び施工方法について外形図、配線図仕様等を記した下記承認図を2部作成し提出すること。尚、承認図により本市の承認を受け、その後製作着手しなければならない。

＜承認図＞

(A) 各機器外形寸法図、詳細図、構造図

(B) 結線図及び接続図

(C) 機器配置図、据付図

(D) 施工図（各機器間の配管、電線の接続及び電線の種類、太さ、芯数、条数等を明記したもの）

(E) その他本市の指定するもの。

1.1.7 その他提出書類

請負人は本市の指定する書類を工事着工前、工事中、工事完成後に、本市指定の様式で提出するものとする。

1.1.8 届 出

この工事契約後1週間以内に請負人は工事責任者及び工事現場代理人を定めて監督員に届けなければならない。

1.1.9 変更及び軽微な変更

(1) 本工事の施工上必要とあれば、実施工事図を提出して監督員の承認を得て変更することが出来る。但し、これは仕様書および設計図の範囲内とする。

(2) 工事施工中に構造物機械設備等の関係でおこる器具の位置、配管路の軽微な変更は、請負金額に増減なく施工すること。

1.1.10 機器材料の検査

- (1) 本工事で仕様する機器、材料等の検査を要求したときは、請負人は遅滞なくこれに応じなければならない。
- (2) 主要機器のうち、本市が指定するものについては工事立会検査を行う。
- (3) 前各項の検査に必要な費用は請負人の負担とする。

1.1.11 施 工

- (1) 本工事は、本仕様書及び設計図面に示された機能を完全に発揮させるよう施工するものとする。尚、本仕様書及び設計図書に明記されていなくても、法規上又は施工上又は目的とする機能のために当然必要なものは請負人の責任において施工するものとする。
- (2) 請負人は、本仕様書及び設計図書の記載事項に疑義を生じた場合、本市の監督員と協議し監督員の決定に従わなければならない。
- (3) 請負人は工事施工上必要に応じて機器の据付位置及び据付方法、配線等を記した施工図を提出し、本市の承認を受けたのち施工しなければならない。
- (4) 工事施工の際は、建物その他を棄損しないように注意し、棄損した場合は、監督員の指示に従いすみやかに復旧しなければならない。
又、工事施工上必要な壁、床等の穴あけは建物、構造物の強度を減少させることなく最小限にとどめ、同一材料により完全に復旧するものとする。
- (5) 本工事の施工にあたり、他の工事との取り合いとなる際は監督員の指示に従い、各工事の請負人間で十分協議し、工事の進捗に支障のないようにしなければならない。

1.1.12 工事日報

請負人は、工事内容とその他必要事項を記載した工事日報を提出しなければならない。

1.1.13 安全衛生管理

- (1) 本工事の施工にあたっては、労働安全衛生に関する諸法例を遵守し、就業者に対して常にこれを徹底させるとともに、災害防止に万全の対策を講じ安全責任者を定めて管理しなければならない。
- (2) 本工事場所は公共下水道事業所であるので、環境衛生には十分注意し、不要の場所には立ち入らないよう特に注意すること。

1.1.14 試験調整

現場据付工事完了後、監督員の立会いのもとに、各機器設備の単体試験及び総合

試験を行い、設備全般の機能が発揮できるように調整しなければならない。

1.1.15 竣工検査及び受渡し

(1) 本工事の完成に当たっては、関係官公署及び電力会社等の検査を終了し、合格した後に本市の竣工検査を行う。

尚、竣工検査には機器及びその他の試験成績書を提出するものとする。

(2) 竣工検査において指摘された事項については、速やかに改善し、再度検査を受けるものとする。

(3) 本工事の受渡し期日は、立会い試験及び竣工試験に合格した後とする。

1.1.16 材料保管

本工事竣工までの機器、材料の保管責任は請負人にあるものとする。

1.1.17 保証期間

本工事の保証期間は、受渡し完了後1箇年とする。

但し、照明用電球、管球類は6ヶ月とする。

尚、万一保証期間中に、請負者の責任に帰すべき原因による故障が発生した場合は、請負者は本市の指定すべき期間内に無償で、取替、又は修理しなければならない。

1.1.18 完成図書

請負人は工事完了後、下記の図書を整備し製本の上提出すること。

- (1) 施設設備完成図書……………2部
- (2) 主要機器取扱説明書……………3部
- (3) 維持管理に必要な運転要領書、説明図書……………3部
- (4) 工事写真……………1部
- (5) 各種機器試験成績表……………1部
- (6) 施工に伴う試験成績表、測定結果表……………1式
- (7) 諸官署ほか提出書類控……………1式
- (8) その他市の指定するもの……………1式

第2章 機器設備一般仕様

第1節 共通事項

2.1.1 規則

本工事に使用する機器は、JIS、JEC、JEM各規格に準拠するもので、本章の仕様によること。明記無いものについては原則、日本下水道事業団下記仕様書（最新版）に準ずる。

- ・機械設備標準仕様書
- ・械設備工事一般仕様書
- ・機械設備工事施工指針
- ・機械設備工事必携
- ・機械設備 工事施工チェックシート（案）
- ・電気設備工事一般仕様書
- ・電気設備工事施工指針

2.1.2 受電電圧

機器の受電電圧は、設計図及び特記仕様書に示す通りとする。

2.1.3 単位

単位はすべてメートル法による。

2.1.4 付属品

各機器の付属品は、特記仕様書に記載されているものを付属するほか、請負者において運転上必要と認めるものは全て付属すること。

又、特記仕様書に記載していない部分であって、1年以内に消耗すると思われるものは、1ヶ年分を供給しなければならない。

2.1.5 塗装色

塗装色は打合せにより決定する。

ただし、原則として錆止め塗装，下塗り塗装後，仕上塗装を施すこと。

2.1.6 周波数

本地域は60Hz地区につき、定格周波数は60Hzとする。

2.1.7 制御盤扉ハンドル

制御盤扉のハンドルはキー付とし、原則として各盤共に同一キーとすること。

2.1.8 低圧制御盤共通仕様

(1) 形 式

屋外自立閉鎖型，単母線式

(2) 構 造

鋼板製外被，組立鉄骨，底板等を有し，移設，増設に便利で電氣的，機械的に堅牢で耐電圧的にも優れたものとし，下記構造とする。

(ア) 金属外箱及び主要構造材料は，収納機器の重量作動による衝撃等に十分耐える

強度を有するものとし，次表に示す厚さ以上の鋼板を用いて製作すること。

鋼 板 の 厚 さ

構 成 部	鋼板の厚さ (mm以上) (屋外型の場合)
側 面 板	2.3 (2.0)
底 板	2.3 (1.5)
屋 根 板	2.3 (2.0)
と び ら	3.2 (2.0)
仕 切 板	2.3

※ () 内はステンレスの場合

(イ) 低圧制御盤には銅性の接地母線を備え，容易に点検でき，且つ接地線に接続しうる構造とする。

(ウ) 低圧制御盤には底板を設け，必要な個所は取外しできるものとする。

(エ) 低圧制御盤の寸法は，設計図を参照し，承認図において決定する。

(3) 扉

前背面は蝶番式扉とし，前面扉に計器継電器，制御スイッチ，表示等を取付ける。扉はみだりに開放できないよう共通の鍵で施錠すること。

(4) 防 湿

必要により乾燥用スペースヒーターおよび換気孔を設けて保護すること。

(5) 防虫，防鼠

必要により，換気孔等の開孔部には細目金網を張って，その侵入を防ぐこと。

(6) 主 回 路

主回路に用いる母線及び接続導体は，銅を使用し，規定の条件のもとに定格電流及び定格短時間電流を流しても十分これに耐えるものとする。絶縁電線

を用いる場合は、原則として600Vビニル絶縁電線IV (JIS C3307) 又は、電気機器用ビニル絶縁電線KIV (JIS C3316) に規定されたものを使用すること。
又は同等以上のものとする。

(7) 制御回路

(ア) 制御回路に用いる電線は、原則として600Vビニル絶縁電線IV (JIS C3307) または、電気機器用ビニル絶縁電線KIV (JIS C3316) に規定されたもので、断面積が 1.25mm^2 以上を使用し、かつ可動部は充分可とう性が有るものとする。但し、電流容量、電圧降下などに支障がなく、保護協調がとれれば細い線を使用してもよい。

(イ) 電源被覆の色別はJEM 1122より次記の色別を行なうこと。

計器用変圧器二次回路	黄
変流器二次回路	黄
直流制御回路	黄
交流制御回路	黄
接地回路	緑

(8) 照 明

盤内照明は原則として、前部に照明等を設け、ドアスイッチにより、扉の開閉に連動して点滅すること。

(9) 制御電源

下記のいずれかとする。

(ア) 主回路電源	AC100V, AC200V
(イ) 制御回路電源	AC100V, AC200V, DC24V, DC100V

(10) 標準付属品

(ア) 名称銘板	1 式
(イ) 内部照明灯AC100V 蛍光灯10W	1 式
(ウ) 基礎チャンネルベース	1 式
(エ) 基礎ボルト	1 式
(オ) スペースヒータ (必要に応じて)	1 式
(カ) その他必要なもの	1 式

(11) 予 備 品

各機器仕様に記載したものの他、製作者において、必要とみなす予備品を納

入すること。

第3章 工 事 仕 様

第1節 工 事 一 般 仕 様

3.1.1 機械据付工事

- (1) 据付の位置，据付方法は図面及び仕様書によること。
- (2) 各機器の詳細な据付位置の決定にあたっては，事前に監督員と十分協議し，位置のすみ出し後も監督員の確認を得てから，着手し正確に据付けるものとする。
- (3) 機器の据付にあたっては，完全に水平，垂直に芯出し調整を行うこと。
- (4) 基礎ボルトの完全締付けは，モルタルの養生期間を充分に見込み，完全に硬化後行うこと。
- (5) 制水弁の据付は，前後の配管と側管の取付け等に注意し，垂直又は水平に据付けなければならない。据付けに際しては，重量物に見合った機械を使用し，完全確実に行うこと。
- (6) 弁類の取扱いは弁棒，角材などを敷いて直後地面に接してはならない。吊り上げる場合は，台付けを確実にとらなければならない。

3.1.2 配管工事

- (1) 管の製作加工の規格は，日本工業規格（JIS）によるSUS304，Sch20S以上を使用すること。
- (2) 配管工事に先立ち，十分管体検査を行い，亀裂その他欠陥の無いことを確認後施工すること。
- (3) 管の据付にあたっては，十分内部を掃除し，水平器型等を使用し，中心線及び工程を確認して移動しないよう銅締めを堅固に行い，管文字を上向きにして据付けなければならない。
- (4) 配管作業に従事する技能者は，豊富な実務経験と知識を有し，熟練したものでなければならない。
- (5) 管の溶接は，資格を有する熟練技能者が行うものとし，熟練したものでなければならない。

- (6) 配管の荷重をポンプに受けさせないよう適宜サポート（材質SUS304）を取付け施工すること。

3.1.3 電気配管工事

- (1) 配管は施設場所により次の電線管を使用する。

- | | |
|----------|---|
| (ア) 一般配管 | 厚鋼電線管 |
| (イ) 地中配管 | 波付硬質合成樹脂管
ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管
合成樹脂製可とう電線管
硬質ビニル電線管 |
| (ウ) 接地線用 | 硬質ビニル電線管（露出，地中共） |

地中電線管については、ケーブル埋設シートを布設のこと。

- (2) 露出配管は、配管支持材（パイプハンガ等）を使用し配管には塗装を行なう。
- (3) 地中電線路の要所にはケーブル埋設表示を行う。
- (4) 予備配管（入線しない配管）には1.2mm以上のビニール被覆電線を挿入，行先表示札をつけること。

3.1.4 電気配線工事

- (1) 配線は使用目的により、次の電線又はケーブルを使用する。

- (ア) 主回路：600V架橋ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル
(600V EM-CE)

- (イ) 制御回路：制御用ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル
(EM-CEE)
静電遮蔽付制御用ポリエチレン絶縁ポリエチレンシース
ケーブル (EM-CEE-S)

- (ウ) 接地回路：600Vポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 緑色

- (2) 端子への接続は、圧着端子で行うこと。

3.1.5 据付工事

自立盤、スタンド盤は水平に据付くように調整の上、コンクリート基礎上にアンカーボルト、又はプラグボルトを使用し堅ろうに固定すること。

装柱盤は引込柱等に水平に据付くように調整の上、装柱取付金物、及びボルトを使用し堅ろうに固定すること。

配管途中に据付ける計装発信器は、エア一溜まりが生じないように据付けること。

3.1.6 接地工事

接地工事の接地極間の隔離距離は2m以上になるように施工すること。

接地工事の接地極には接地銅板、又は連結式接地棒を使用し各接地抵抗の基準値内になるように施工すること。

第4章 機械設備工事

第1節 水中汚水ポンプ

4.1.1 使用目的

本ポンプは、マンホール内に据付け、汚水を圧送する為のものである。

4.1.2 仕様

	仕 様	備 考
(1) 形 式	着脱式水中汚水ポンプ	高効率・高通過性ノンクログ (100%通過型)
(2) 口 径	φ 65mm	
(3) 吐 出 量	0.18m ³ /分	
(4) 全 揚 程	6.5m	
(5) 電 動 機	1.5kW×4P×200V×60Hz	水中乾式
(6) 回 転 数	1,800min ⁻¹	同期回転数
(7) 台 数	全体2台（1台予備）	
(8) 運転方式	単独交互運転	
(9) 水中ケーブル長	約 20m	最終、現場状況に合わせ決定
(10) 付属機構	着脱装置、吸込ベルマウス	

4.1.3 構造及び材質

(1) ケーシング

(ア) ケーシングは内部圧力及び振動等に対する機械的強度並びに腐食・摩耗を考慮した良質の鋳鉄製品（FC200以上）とする。

(イ) ケーシングは分解、組立が容易であり分解する場合には、羽根車が主軸に取付けられたままで、上部に取り出せる構造とすること。

(2) 羽 根 車

羽根車は良質強靱なる製品（SCS13以上）とし、固形物の混入に対し、堅ろうであること。

(3) 主 軸

主軸は電動機軸を延長したもので、伝達トルク及び振り振動に対しても十分な強度を有すること。

(4) 軸封装置

軸封部にはメカニカルシールを用い、運転中停止中を問わず異物がモーター内に浸入しないよう、中間に軸掛油を密封した二段構造とする。またシール等の取替えは容易に行える構造とする。

(5) 軸 受

回転部重量および水カスラストは、電動機に内装した軸受にて支持するものとし、長時間の連続運転に耐え、円滑なる自己潤滑が出来る構造とすること。

4.1.4 保護装置

異常温度上昇時に、自動的に作動し運転停止を行うオートカット等ポンプ過熱保護装置を内蔵すること。

4.1.5 主要部材費

- (1) ケーシング …………… FC200以上
- (2) 羽根車 …………… SCS13以上
- (3) 主軸 …………… SUS420J2相当
- (4) 着脱装置 …………… FC200+SUS304

4.1.6 塗装

日本下水道事業団著、「機械設備工事一般仕様書」に基づきポンプの接液部は、エポキシ樹脂系塗装（水中部用）を施すものとする。

但し、ステンレス鋼及び非鉄部等で塗装の不要個所は、未塗装を可とする。

4.1.7 標準付属品（1台に付き）

- | | |
|------------------------|------|
| (1) 専用水中ケーブル | 1 式 |
| (2) 吊上用チェーン (SUS304) | 1 式 |
| (3) ポンプ着脱装置 | 1 式 |
| (4) 基礎ボルト・ナット (SUS304) | 1 式 |
| (5) ガイドパイプ支え (SUS304) | 1 式 |
| (6) 吸込ベルマウス (SUS304) | 1 個 |
| (7) 自動空気抜弁 (20A SUS) | 1 個 |
| (8) 特殊工具 (ポンプ2台に対し) | 1 式 |
| (9) メカニカルシール | 1 台分 |
| (10) その他必要なもの | 1 式 |

4.1.8 特記事項

本ポンプは圧送管（添架管）の空気抜きを考慮して、規格品ポンプの実際の運転時において管内流速が速くなる様に、計画量より多く圧送可能な電動機出力、機種選定を行っている。よって実際に設置するポンプは、計画吐出量を上回るポンプ（但しメーカー標準）とする。

第2節 予 旋 回 槽

4.2.1 使用目的

本予旋回槽は、マンホール内底部に据付け、マンホール内の洗浄と汚水の残水を無くし、スカムの発生を抑制する為のものである。

4.2.2 仕 様

	仕 様	備 考
(1)形 式	FRP製 分割組立式	
(2)マンホール	2号マンホール (φ1.2m)	
(3)取付汚水ポンプ仕様	φ65mm×1.5kW×2台	吸込ノズル付
(4)数 量	1 式	

4.2.3 構造及び材質

予旋回槽

- (1) 予旋回槽は、ポンプの吸込み作用により汚水に旋回流を発生させマンホール底の洗浄と、汚水の残水を無くす事ができる構造であること。
- (2) ポンプを予旋回槽に直接取付け可能な構造であること。
- (3) 予旋回槽は、振動等に対する機械的強度並びに腐食・磨耗を考慮した良質の材質であること。

4.2.4 主要部材質

- (1) 予旋回槽 …………… FRP
- (2) 据付金具 …………… 主要部SUS304

4.2.5 標準付属品

- (1) 据付金具 …………… 1 式
- (2) アンカーボルト類 (SUS304) …………… 1 式

第3節 配管・弁類

4.3.1 逆止弁

1. 使用目的

ポンプ吐出側に設け、ポンプ停止時の逆流を防止するものである。

2. 仕様

項 目	仕 様	備 考
(1) 形 式	ボール式逆止弁	
(2) 口 径	φ 65 mm	
(3) 使 用 水	汚水	
(4) フランジ規格	JIS 10K	
(5) 数 量	2 台	

3. 使用材料

- | | |
|---------|-----------------|
| (1) 弁 箱 | ステンレス鋳鋼 (SCS13) |
| (2) 弁 体 | 合成ゴム (ボール式) |

4.3.2 止水弁（ボール弁）

1. 使用目的

ポンプ吐出側に設け、止水を行うものである。

2. 仕様

項 目	仕 様	備 考
(1) 形 式	手動ボール弁	レバー式
(2) 口 径	φ 65 mm	フルボア
(3) 使 用 水	汚水	
(4) フランジ規格	JIS 10K	
(5) 数 量	2 台	

3. 使用材料

- | | |
|---------|-----------------|
| (1) 弁 箱 | ステンレス鋳鋼 (SCS13) |
| (2) 弁 体 | ステンレス鋼 (SUS304) |

4.3.3 槽内配管

本工事で施工する配管の範囲は、下記の通りとする。

配 管 名 称	口 径	管 種	施 工 範 囲	備 考
槽内・埋設配管	65A～80A	SUS304TP Sch20S	ポンプ吐出口 ～圧送管取合部	空気抜管 20A

第 4 節 複合工等

4.4.1 鋼製加工品

本工事で施工する鋼製加工品類の範囲は、下記の通りとする。

用 途	数 量	形 式	形 状 ・ 寸 法	材 料	備 考
流入バップル	1 式	鋼板加工	図面による	SUS304	

4.4.2 複合工

本工事で施工する複合工の範囲は、下記の通りとする。

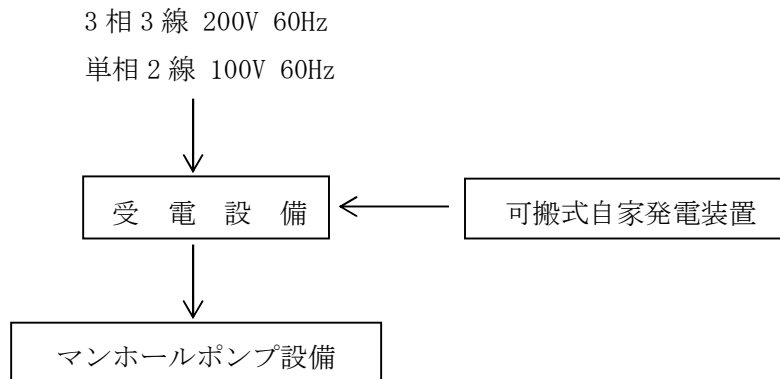
工 種	数 量	形 状 ・ 寸 法	材 料	備 考
圧送管貫通工	1 ヲ所	φ 200	無収縮モルタル	
予旋回槽底部コンクリート工	1 ヲ所	φ 1200	無筋コンクリート	モルタル充填 含む
圧送管土工	1 式			

第 5 章 電気設備工事
第 1 節 受電・動力制御計装設備

5.1.1 一般事項

1) 概 要

中国電力㈱より、3 相 3 線 200V 60Hz、単相 2 線 100V 60Hz を受電し、マンホールポンプ設備に給電する。



2) 設備機器

・マンホールポンプ制御盤	1 面
・UPS	1 台
・自動通報装置	1 式
・投込式水位計	1 組
・フリクトスイッチ	1 組 1 個

5.1.2 機器仕様

1) マンホールポンプ制御盤

- (1) 数 量 1 面
- (2) 形 式 SUS 製屋外装柱形 (電力量計箱付)
盤扉のハンドルはキー付とする
- (3) 概略寸法 600W×400D×1750H (参考)
- (4) 制 御 3φ3W 200V 60Hz 1.5kW×2 台
- (5) 始動方式 直入始動方式
- (6) 盤面取付器具
 - 【電力量計箱部】
 - (01) 名称銘板 1 式
 - (02) 検針窓 (3φ200V, 1φ100V) 1 式

(03)	その他必要なもの	1 式
【制御盤部】		
(01)	名称銘板	1 式
(02)	その他必要なもの	1 式
(7)	盤面取付器具 (中扉)	
(01)	名称銘板	1 式
(02)	交流電圧計 (角形)	1 個
(03)	交流電流計 (角形)	2 個
(04)	運転時間計 (デジタル)	2 個
(05)	集合表示灯 (LED 14 窓×1)	1 式
(06)	切換スイッチ	2 個
	用途：手動一切ー自動	× 2 個
(07)	非照光式押釦スイッチ	6 個
	用途：運転	× 2 個
	停止	× 2 個
	ランプテスト	× 1 個
	故障復帰	× 1 個
(08)	その他必要なもの	1 式
(8)	盤内収納器具	
【電力量計箱部】		
(01)	電力量計取付スペース (3φ用, 1φ用)	1 式
(02)	その他必要なもの	1 式
【制御盤部】		
(01)	電源切換スイッチ (商用-自家発, 3P50AF)	1 台
(02)	配線用遮断器	1 式
	(3P50AF×1, 2P50AF×1, 2P30AF×2)	
(03)	漏電遮断器	1 式
	(3P50AF×2, 2P30AF×1)	
(04)	サーキットプロテクタ (2P30AF×1)	1 式
(05)	1.5 kW直入起動動力回路	2 組
	(MC, 3E, SC)	
(06)	計器用変流器	1 式
(07)	トランス (AC 200/24V 50VA)	1 台
(08)	避雷器 (3φ用, 1φ用)	1 式
(09)	スペースヒータ (サーモスイッチ付)	1 式
(10)	換気扇 (サーモスイッチ付)	1 式

(11)	盤内照明 (ドアスイッチ付)	1 式
(12)	盤内コンセント	1 式
(13)	U P S 電源コンセント	1 式
(14)	非常電源接続コンセント	1 式
(15)	投込式水位計変換器取付スペース	1 式 (※)
(16)	水位検出器 (フロートスイッチ)	1 式
(17)	U P S 取付スペース	1 式 (※)
(18)	ルータ取付スペース	1 式 (※)
(19)	自動通報装置取付スペース	1 式 (※)
(20)	スナップスイッチ	3 個
	用途：スペースヒータ	× 1 個
	換気扇	× 1 個
	強制運転	× 1 個
(21)	停電検知継電器	1 式
(22)	補助継電器・タイマー類	1 式
(23)	盤内配線及び端子台	1 式
(24)	その他必要なもの	1 式

【注】(※) の器具は工場にて取付け出荷のこと。

(9) 主要部材質

(01)	側面板、屋根板、扉板	SUS-2.0 mm以上
(02)	底板	SUS-1.5 mm以上

(10) 付 属 品

(01)	装柱取付金物、及びボルト	1 式
(02)	吊りボルト	1 式
(03)	製造者標準予備品	1 式
(04)	その他必要なもの	1 式

2) U P S

(1)	数 量	1 台
(2)	形 式	盤内収納形
(3)	概略寸法	128W×365D×214H (参考)
(4)	停電補償時間	10 分以上
(5)	定格出力	単相 A C 100 V 750 V A
(6)	給電方式	常時インバータ方式
(7)	切替方式	同期無瞬断方式
(8)	出力コンセント (バックアップ)	4 個

- | | |
|---------------|-----|
| (9) 付 属 品 | |
| (01) 製造者標準予備品 | 1 式 |
| (02) その他必要なもの | 1 式 |

3) 自動通報装置

別節「自動通報装置」参照

4) 投込式水位計

- | | | |
|---------------|---|-------|
| (1) 数 量 | 1 組 | |
| (2) 形 式 | 圧力投込式水位計 | |
| (3) 用 途 | 一般汚水用 | |
| (4) 測定範囲 | 0～5m | |
| (5) 出力信号 | アナログ出力：D C 4～20m A
警報接点：5 点
自己故障判断機能付 | |
| (6) 測定精度 | 約±0.5% (F S) | |
| (7) 電 源 | A C 100V, 60H z | |
| (8) 材 質 | ダイヤフラム：SUS316L
接液部 : SUS316 | |
| (9) 構成機器 | | |
| (01) 水位検出器 | | 1 台 |
| (02) 水位変換器 | | 1 台 |
| (03) 専用ケーブル | | 15.0m |
| (04) その他必要なもの | | 1 式 |
| (10) 付 属 品 | | |
| (01) 製造者標準予備品 | | 1 式 |
| (02) その他必要なもの | | 1 式 |

5) フリクトスイッチ

- | | |
|----------|-------------------|
| (1) 数 量 | 1 組 1 個 |
| (2) 個別仕様 | |
| a. 形 式 | 浮子転倒式 |
| b. 検出方式 | マイクロスイッチ |
| c. 出 力 | 1C 接点 |
| d. 使用電圧 | 30V 以下 (A C, D C) |
| e. 最大電流 | 0.5A (A C, D C) |

f. 付 属 品

(01)	専用ケーブル	15.0m
(3)	材 質	
	フロート本体	P.P (ポリプロピレン)
	コード	VCTFK (塩化ビニル)
(4)	構成機器	
(01)	フロートなしスイッチ	1 個
(02)	その他必要なもの	1 式
(5)	付 属 品	
(01)	吊上用チェーン (SUS304)	5m
(02)	固定ウエイト (SUS304)	1 個
(03)	その他必要なもの	1 式

第2節 運 転 方 案

5.2.1 概 要

本ポンプ場は無人運転となる為、汚水ポンプは自動運転とする。

又、現場にて手動運転が出来るものとする。

警報通報手段として、LTE 高速通信回線を用いた自動通報装置を設置する。

5.2.2 操作方案

1) マンホールポンプ

運転操作は、マンホールポンプ制御盤面の単独操作、及び自動運転とする。

自動運転の場合は、

- ①自動単独交互運転回路
- ②故障機飛越し運転回路

を設ける。

詳細は、設計図面の「運転ブロック図」に示す。

2) 自動通報装置

異常時の通報は、LTE 高速通信回線を用いたメール通報とする。

イ. 入力点数

[デジタル入力 (警報)]

- ・ 停電
- ・ No.1 ポンプ故障
- ・ No.2 ポンプ故障
- ・ 異常高水位
- ・ 水位計異常
- ・ No.1 ポンプ運転時間異常
- ・ No.2 ポンプ運転時間異常

[アナログ入力]

- ・ マンホール内水位

ロ. 通報メッセージ

- ・ ☐ポンプ場 停電が発生しました。
- ・ ☐ポンプ場 No.△ポンプに故障が発生しました。
- ・ ☐ポンプ場 異常高水位が発生しました。
- ・ ☐ポンプ場 水位計異常が発生しました。
- ・ ☐ポンプ場 No.△ポンプが長時間運転しています。

注：□内は、マンホールポンプ場の名称、△は1，2を言う。

第3節 自動通報装置

5.3.1 自動通報装置仕様

1) 形 式 盤内取付形

2) 仕 様

a. 入力点数 デジタル(DI)：12点以上

アナログ(AI)：4点

b. 適用回線 LTE 高速通信回線

c. 通報方式 Eメール

なお、市より第1通報を「音声」とする要望がでた場合、
LTE 高速通信回線で音声通報ができる機器を選定すること。

d. 最大通報宛先数 Eメール：30宛先以上

e. データ蓄積機能

メモリー：製造メーカーに準ずる

項 目：日報，月報，年報用、その他データ等

3) 付 属 品

(01) ルータ（製造メーカーに準ずる） 1台

(02) アンテナ 1式

(03) 製造者標準予備品 1式

(04) その他必要なもの 1式

第4節 据付配線工事

5.4.1 一般事項

1) 概 要

本工事は、本仕様書の各項を十分理解し、各項に準拠して施行するものとするが、施行範囲、及び特記事項については、以下に定める通りとする。

5.4.2 受電・動力制御設備工事

1) 概 要

本工事は、「第1節 受電・動力制御計装設備」に関するもので、中国電力(株)より、3相3線 200V 60Hz, 単相2線 100V 60Hz を受電し、各機器の据付配線工事を行うものである。

2) 工事範囲

- (1) 引込工事
- (2) 機器据付工事
- (3) 各負荷、及び付属機器への配管, 配線工事
- (4) 接地工事
- (5) 自動通報装置の発報試験
- (6) その他、上記に伴う必要な諸工事

令和 7 年度 公 共 事 業

工 事 設 計 書

三次市

工 事 番 号	07-215	摘 要	補 助
幹 線 名 路 線 名 等	市道八次52号線		
施 工 位 置	三次市畠敷町 地内		
工 事 名	公共下水道事業（公07-4-6）畠敷3号マンホールポンプ設置工事		
工 事 費	金 円也		
工 事 概 要			

積算情報			
工事名	公共下水道事業（公07-4-6） 畠敷3号マンホールポンプ設置工事		
執行年度	令和 7 年度	諸経費区分	下水道ポンプ場 令和06年度
工種区分	機械設備	変更回数	
単価適用年月日	令和 7年 4月 1日付 公共	単価地区	49:三次市(旧甲奴町を除く)
機損適用年月日	令和 6年度 公共・林道	歩掛適用年月日	令和 6年 8月 下水道
補正情報			
施工地域及び 工事場所による補正率	共通仮設費 …………… 補正なし 現場管理費 …………… 補正なし		
現場環境改善費	設定区分無し		
冬期補正	設定区分無し		
緊急工事補正	緊急工事補正無		
前払支出割合区分	3 5 %を超える場合		
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合		

公共下水道事業（公07-4-6） 畠敷3号マンホールポンプ設置工事

総 括 表						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
工事費	1	式				
本工事費	1	式				
機械設備01	1	式				
電気設備01	1	式				
合計						

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
機械設備01	1	式				
【機器費】	1	式				
機器費(設計技術費対象外)	1	式				
水中ポンプ 0.18m3×6.5m φ65×1.5kw	2	台				
予旋回槽 2号マンホール用 FRP製	1	基				
【据付工事】	1	式				
材料費	1	式				
直接材料費	1	式				
配管用ステンレス鋼鋼管 SUS304 Sch20s	1	式			単 1 号	
配管用ステンレス鋼鋼管（地中埋設） SUS304 Sch20 S	1	式			単 2 号	
ボール式逆止弁 10KF 65A（SCS/NBR）	2	個				
ボール弁（止水弁） 10KF 65A（SCS/SUS）	2	個				

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
埋設表示シート 150mm	0.6	m				
鋼製加工品 SUS304	12.2	kg				
補助材料費	1	式				
労務費	1	式				
一般労務費	1	式				
設備機械工	1	人				
配管工	4	人				
普通作業員	1	人				
機械設備据付労務費	1	式				
機械設備据付工標準賃金	1	人				
複合工費	1	式				
コンクリート 人力打設 小型構造物	0.3	m3			P 1 号	18-8-40高炉60% 一般養生

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
型枠 一般型枠 小型構造物	0.05	m2			P 2 号	
モルタル練 高炉	0.01	m3			P 3 号	
下水処理設備用モルタル工 モルタル仕上げ(厚2cm)	0.05	m2			施 1 号	据付
構造物とりこわし 無筋構造物 人力施工	0.01	m3			施 2 号	昼間 時間制約無
機械掘削工(バックホウ) クローラ型 0.28m3	0.4	m3			施 3 号	
機械投入埋戻工(バックホウ) クローラ型 0.28m3 土質区分:粘性土	0.2	m3			施 4 号	流用土
機械投入埋戻工(バックホウ) クローラ型 0.28m3 土質区分:砂	0.1	m3			施 5 号	砕石(各種)
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	2	m			P 4 号	
舗装版破碎 アスファルト舗装版 厚15cm以下	0.4	m2			P 5 号	障害等無し 積込作業有 騒音振動対策不要
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコ(13) 小型	0.4	m2			P 6 号	平均幅員1.4m未満 プライムコート 締固密度2.35
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工	0.4	m2			P 7 号	粒度調整砕石 M-30
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工	0.4	m2			P 8 号	再生クラッシュラン RC-40

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
土砂等運搬 小規模 ハックル山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂	0.2	m3			P 9 号	10.0km以下 DID区間無 タヤ損耗費(良好)含む
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 (旬ヶみ設備東山区内建設発生土受入地)	0.2	m3				受入地 三次市山家町
殻運搬 舗装版破碎 機械 騒対不要、厚15cm超又は必要	0.02	m3			P 10 号	7.5km以下 DID区間無 タヤ損耗費(良好)含む
再資源化施設受入費 アス塊 10t, 4t, 2t 中国アステック(株)	0.04	t				三次市高杉町
直接経費	1	式				
機械経費(率化)	1	式				
機械経費	1	式				
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	1	日				
仮設費(率化)	1	式				
直接工事費計(据付工事)	1	式				
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				
据付間接費	1	式				
据付工事原価	1	式				
設計技術費	1	式				
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
電気設備01	1	式				
【機器費】	1	式				
機器費(設計技術費対象外)	1	式				
マンホールポンプ制御盤 SUS製屋外装柱型	1	面				
UPS 750VA	1	台				
自動通報装置 LTE通信回線	1	台				
投込式水位計	1	組				
【据付工事】	1	式				
材料費	1	式				
直接材料費	1	式				
低圧ケーブル	1	式			単 3 号	
その他電線	1	式			単 4 号	

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
電線管類	1	式			単 5 号	
埋設標識シート 150mmポリエチレンクロス	2.7	m				
接地材 アース棒φ14×1500L	2	個				
接地材 アース棒用リード端子φ14	2	個				
引込柱 CP8-19-430 k g	1	本				
ポール底板 丸型No. 1	1	枚				
自在バンド 3BD-HD17	2	個				
自在バンド IBT-208	8	個				
CP用足場ボルト	8	本				
エントランスキャップ φ22	2	個				
スパイラル管 φ400	1.3	m				
フロートスイッチ フリクト	1	個				

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
補助材料費	1	式				
労務費	1	式				
電 工	9	人				
普通作業員	1	人				
電気通信技術者	3	人				
複合工費	1	式				
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物	1	m3			P 11 号	18-8-40高炉60%小型 一般養生
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物	0.1	m3			P 12 号	18-8-40高炉60%小型 養生無し
基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下	2	m2			P 13 号	再生クラッシュラン40～0
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	7	m2			P 14 号	
モルタル練 高炉	0.1	m3			P 3 号	
下水処理設備用モルタル工 モルタル仕上げ(厚2cm)	0.6	m2			施 1 号	据付

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	10	m			P 4 号	
舗装版破碎 アスファルト舗装版 厚15cm以下	11	m2			P 5 号	障害等無し 積込作業有 騒音振動対策不要
殻運搬 舗装版破碎 機械 騒対不要、厚15cm超又は必要	0.4	m3			P 10 号	7.5km以下 DID区間無 タ代損耗費(良好)含む
再資源化施設受入費 アス塊 10t, 4t, 2t 中国アステック株	1	t				三次市高杉町
機械掘削工(バックホウ) クローラ型 0.28m3	3	m3			施 3 号	
機械投入埋戻工(バックホウ) クローラ型 0.28m3 土質区分:粘性土	1	m3			施 4 号	流用土
機械投入埋戻工(バックホウ) クローラ型 0.28m3 土質区分:砂	0.2	m3			施 5 号	砕石(各種)
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工	4	m2			P 8 号	再生クラッシュラン RC-40
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚110mm 1層施工	4	m2			P 15 号	粒度調整砕石 M-30
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生粗粒度アスコン(20) 小型	4	m2			P 16 号	平均幅員1.4m未満 瀝青材無 締固密度2.35
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13) 小型	5	m2			P 6 号	平均幅員1.4m未満 プライムコート 締固密度2.35
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂	2	m3			P 17 号	9.5km以下 DID区間無 タ代損耗費(良好)含む

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
建設発生土受入費 砂・砂質土・礫質土 (汚水処理設備東山区内建設発生土受入地)	2	m3				受入地 三次市山家町
削孔工（0・1号） VU φ 200	1	箇所				
直接経費	1	式				
機械経費（率化）	1	式				
仮設費（率化）	1	式				
直接工事費計（据付工事）	1	式				
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費（率化）	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				
据付（技術者）間接費	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書						
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
据付(機器)間接費	1	式				
据付工事原価	1	式				
設計技術費	1	式				
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

公共下水道事業（公07-4-6） 畠敷3号マンホールポンプ設置工事

【 第 1 号 単価表 】							1 式 当り
配管用ステンレス鋼鋼管 SUS304 Sch20s							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要	
ステンレス鋼管 SUS304 S ch20 S 20A	1.3	m					
ステンレス鋼管 SUS304 S ch20 S 65A	7.1	m					
ステンレス鋼管 SUS304 S ch20 S 80A	1	m					
雑 品	140	%					
計							
単位当たり							

公共下水道事業（公07-4-6） 畠敷3号マンホールポンプ設置工事

【 第 2 号 単価表 】							1 式 当 り
配管用ステンレス鋼鋼管（地中埋設） SUS304 Sch20 S							
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要	
ステンレス鋼管 SUS304 S ch20 S 80A	0.4	m					
雑 品	125	%					
計							
単位当たり							

公共下水道事業（公07-4-6） 畠敷3号マンホールポンプ設置工事

【 第 3 号 単価表 】							1 式 当り
低圧ケーブル							
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要	
低圧ケーブル 600V EM-CE3.5sq-3c	7.8	m					
低圧ケーブル 600V EM-CE5.5sq-2c	7.3	m					
雑 品	1.5	%					
計							
単位当たり							

公共下水道事業（公07-4-6） 畠敷3号マンホールポンプ設置工事

【 第 4 号 単価表 】							1 式 当 り
その他電線							
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要	
その他電線 EM-IE 5.5SQ	4.4	m					
雑 品	1.5	%					
計							
単位当たり							

公共下水道事業（公07-4-6）畠敷3号マンホールポンプ設置工事

【 第 5 号 単価表 】 電線管類							1 式 当 り
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要	
ポリエチライニング鋼管 PE36	0.5	m					
ポリエチライニング鋼管 PE28	1	m					
ポリエチライニング鋼管 PE22	13.1	m					
雑 品	145	%					
波付硬質合成樹脂管 FEP40	4.2	m					
波付硬質合成樹脂管 FEP30	8.4	m					
雑 品	30	%					
硬質ビニル電線管（埋設） VE16	2.9	m					
雑 品	35	%					
硬質ビニル電線管（露出） VE16	0.5	m					
雑 品	95	%					
計							

公共下水道事業（公07-4-6）畠敷3号マンホールポンプ設置工事

【 第 5 号 单価表 】

(続 き)

電線管類

1 式 当り

[illegible]

【 第 1 号 施工単価表 】						
下水処理設備用モルタル工 モルタル仕上げ(厚2cm)						
(据付 ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
左官	0.5	人				
普通作業員	0.1	人				
計						
単位当たり						

三次市

【 第 3 号 施工単価表 】						
機械掘削工(バックホウ) クローラ型 0.28m3						
	100	m3	当り			
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
土木一般世話役	1.9	人				
普通作業員	5	人				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	11.1	時間				排対型:2次基準 損料補正なし
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						

【 第 4 号 施工単価表 】						
機械投入埋戻工（バックホウ）ｸﾛｰﾗ型 0.28m3 土質区分:ㇿ質土 （流用土 , ）						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
土木一般世話役	2.5	人				
普通作業員	3.8	人				
流用土	133.3	m3				
バックホウ運転 ｸﾛｰﾗ型 山積0.28m3（平積0.2）	7.6	時間				排対型:2次基準 損料補正なし
タンパ締固め	100	m3			P 18 号	
諸 雑 費 （丸め）	1	式				
計						
単位当たり						

【 第 5 号 施工単価表 】						
機械投入埋戻工（バックホウ）クローラ型 0.28m3 土質区分:砂 (碎石(各種) ,)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
土木一般世話役	2.5	人				
普通作業員	3.8	人				
ダスト 2.5mm以下	126.3	m3				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	7.6	時間				排対型:2次基準 損料補正なし
タンパ締固め	100	m3			P 18 号	
諸 雑 費 (丸め)	1	式				
計						
単位当たり						

【 第 1 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
コンクリート 人力打設 小型構造物									
(18-8-40高炉60% , 一般養生)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要		
【労務】			42.01						
普通作業員			22.75						
土木一般世話役			9.31						
特殊作業員			7.89						
その他(労務)									
【材料】			57.99						
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			57.99						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 2 構造物種別 小型構造物			[J9] = 3 打設工法 人力打設						
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 2 養生工の種類 一般養生						
[J7] = 2 現場内小運搬の有無 無し			[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用						
[N3] = 1 生コン小型車割増 小型車割増なし									

【 第 2 号 施工パッケージ 】							
型枠 一般型枠 小型構造物							
1 m2 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【労務】			100.00				
型わく工			43.77				
普通作業員			31.27				
土木一般世話役			11.92				
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 2 構造物の種類 小型構造物				

【 第 3 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
モルタル練 高炉									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要		
【労務】			83.30						
普通作業員			55.43						
土木一般世話役			27.71						
その他(労務)									
【材料】			16.70						
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋			11.28						
コンクリート用砂 細目(洗い)			5.42						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 2 セメント種類 高炉 [y1] = 1 砂規格 砂細目(洗い)			[J3] = 1	費用の内訳 全ての費用					

【 第 4 号 施工パッケージ 】							
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下							
1 m 当り							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			15.42				
コンクリートカッタ[ハキューム式(超低騒音型)・湿式] 切削深20cm級 ブレード径φ56cm			10.49				
その他(機械)							
【労務】			57.13				
特殊作業員			19.60				
土木一般世話役			10.55				
普通作業員			8.73				
その他(労務)							
【材料】			27.45				
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)			23.29				
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			2.83				
その他(材料)							

三次市

【 第 5 号 施工パッケージ 】							
舗装版破砕 アスファルト舗装版 厚15cm以下							
(障害等無し 積込作業有 ,騒音振動対策不要)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			13.49				
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)			13.49				排対型1,2,3次 低騒音
【労務】			80.49				
土木一般世話役			28.91				
運転手(特殊)			27.69				
普通作業員			23.89				
【材料】			6.02				
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油			6.02				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 1 舗装版種別 アスファルト舗装版			[J2] = 1 障害等の有無 無し				
[J3] = 1 騒音振動対策 不要			[J4] = 4 舗装版厚 15cm以下				
[J6] = 1 積込作業の有無 有り			[J7] = 1 費用の内訳 全ての費用				

【 第 6 号 施工パッケージ 】							
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13) 小型 (平均幅員1.4m未満 ,プライムコート 締固密度2.35)							
1	m2	当り					
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			0.43				
振動ロー(舗装用) [ハットカッター式] 運転質量0.5～0.6t			0.24				
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg			0.13				
その他(機械)							
【労務】			42.30				
特殊作業員			18.71				
普通作業員			13.40				
土木一般世話役			4.05				
その他(労務)							
【材料】			57.27				
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)			52.51				
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用			4.54				

<p>【 第 6 号 施工パッケージ 】 (続 き)</p> <p>表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚40mm 再生密粒度アスコン(13) 小型 (平均幅員1.4m未満 , プライムコート 締固密度2.35)</p> <p>1 m2 当り</p>							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			0.16				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			0.03				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J2] = 40.000 mm 1層当り平均仕上り厚			[J1] = 1 平均幅員 1.4m未満 平均仕上厚50mm以下				
[A1] = 11 材料 再生密粒度アスコン(13) [J6] = 1 費用の内訳 全ての費用 [A3] = 1 アスファルト混合物夜間割増 夜間割増なし			[J4] = 3 瀝青材料種類 プライムコート PK-3 [A2] = 2 アスファルト混合物小型車割増 小型車割増あり				

【 第 7 号 施工パッケージ 】							
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工							
(粒度調整碎石 M-30 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			9.88				
モータレータ〔土工用・排対型2次基準〕 プレート幅3.1m			3.96				
ロードローラ〔マカダム・排対型:2次基準〕 運転質量10t 締固め幅2.1m			3.13				
〈貸〉タイヤローラ 質量8～20t			1.01				排対型1,2次基準 低騒音
その他(機械)							
【労務】			33.13				
運転手(特殊)			15.46				
特殊作業員			5.15				
普通作業員			5.03				
土木一般世話役			1.52				
その他(労務)							
【材料】			56.99				

<p>【 第 7 号 施工パッケージ 】 (続 き)</p> <p>上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 1 m2 当り</p> <p>(粒度調整碎石 M-30 ,)</p>							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
粒度調整碎石 30～0mm			53.57				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			2.81				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 10 材料 粒度調整碎石 M-30				[J4] = 100.000 mm 全仕上り厚			
[J5] = 1 施工区分 1層施工				[J7] = 1 費用の内訳 全ての費用			

【 第 8 号 施工パッケージ 】							
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工							
(再生クラッシャー RC-40 ,)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			4.67				
モーターレータ〔土工用・排対型2次基準〕 プレート幅3.1m			1.87				
ロードローラ〔マカダム・排対型:2次基準〕 運転質量10t 締固め幅2.1m			1.48				
〈貸〉タイヤローラ 質量8～20t			0.48				排対型1,2次基準 低騒音
その他(機械)							
【労務】			15.69				
運転手(特殊)			7.32				
特殊作業員			2.44				
普通作業員			2.38				
土木一般世話役			0.72				
その他(労務)							
【材料】			79.64				

【第 8 号 施工パッケージ】 (続 き) 下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 (再生クラッシャー RC-40 ,)								1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要		
再生クラッシャー 40～0mm			78.02						
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			1.33						
その他(材料)									
【端数調整】									
[条件] [J1] = 150.000 mm 全仕上り厚			[J2] = 1	施工区分 1層施工					
[J3] = 6 材料 再生クラッシャー RC-40			[J4] = 1	費用の内訳 全ての費用					

【 第 9 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
土砂等運搬 小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂 (10.0km以下 DID区間無 , タイヤ損耗費(良好)含む)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要		
【機械】			24.45						
ダンプトラック[オンロード・デイズール] 4t積級			24.45						
【労務】			63.42						
運転手 (一般)			63.42						
【材料】			12.13						
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			12.13						
【端数調整】									
[条件] [J1] = 2 土砂等発生現場 小規模 [J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む) [JD] = 10 運搬距離 10.0km以下			[J2] = 5 積込機種・規格 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) [J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無						

【 第 10 号 施工パッケージ 】							
殻運搬 舗装版破碎 機械 騒対不要、厚15cm超又は必要 (7.5km以下 DID区間無 , タ代損耗費(良好)含む)						1	m3 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			44.95				
ダンプトラック[オンロード・デ・イゼール] 10t積級			44.95				
【労務】			38.97				
運転手（一般）			38.97				
【材料】			16.08				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			16.08				
【端数調整】							
[条件]							
[J1] = 3 殻発生作業 舗装版破碎			[J2] = 2 積込工法区分 機械 騒対不要、厚15cm超又は必要				
[J3] = 1 DID区間の有無 DID区間無			[J8] = 8 運搬距離 7.5km以下				
[JJ] = 1 費用の内訳 全ての費用							

【 第 11 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物									
(18-8-40高炉60%小型 , 一般養生)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要		
【労務】			29.40						
普通作業員			13.20						
特殊作業員			7.51						
土木一般世話役			6.69						
その他(労務)									
【材料】			70.60						
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			70.60						
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物			[J9] = 3 打設工法 人力打設						
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 2 養生工の種類 一般養生						
[J7] = 2 現場内小運搬の有無 無し			[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用						
[N3] = 2 生コン小型車割増 小型車割増あり									

【 第 12 号 施工パッケージ 】								1	m3 当り
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物									
(18-8-40高炉60%小型 ,養生無し)									
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要		
【労務】			27.04						
普通作業員			11.44						
特殊作業員			7.77						
土木一般世話役			6.06						
その他(労務)									
【材料】			72.96						
レディーミクストコンクリート指定品 18-8-40 W/C(60%), 高炉			72.96						
【端数調整】									
[条件]									
[J1] = 1 構造物種別 無筋・鉄筋構造物			[J9] = 3 打設工法 人力打設						
[N1] = 32 コンクリート規格 18-8-40(高炉)W/C60%			[J5] = 1 養生工の種類 養生無し						
[J7] = 2 現場内小運搬の有無 無し			[JB] = 1 費用の内訳 全ての費用						
[N3] = 2 生コン小型車割増 小型車割増あり									

三次市

三次市

【 第 14 号 施工パッケージ 】							
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物						1	m2 当り
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【労務】			100.00				
型わく工			46.19				
普通作業員			25.55				
土木一般世話役			9.57				
その他(労務)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 型枠の種類 一般型枠			[J2] = 1 構造物の種類 鉄筋・無筋構造物				

【 第 15 号 施工パッケージ 】							
上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚110mm 1層施工 (粒度調整碎石 M-30 ,)							
1	m2 当り						
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			9.88				
モータレータ〔土工用・排対型2次基準〕 プレート幅3.1m			3.96				
ロードローラ〔マカダム・排対型:2次基準〕 運転質量10t 締固め幅2.1m			3.13				
〈貸〉タイヤローラ 質量8～20t			1.01				排対型1,2次基準 低騒音
その他(機械)							
【労務】			33.13				
運転手(特殊)			15.46				
特殊作業員			5.15				
普通作業員			5.03				
土木一般世話役			1.52				
その他(労務)							
【材料】			56.99				

<p>【 第 15 号 施工パッケージ 】 (続 き)</p> <p>上層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚110mm 1層施工 1 m2 当り</p> <p>(粒度調整碎石 M-30 ,)</p>							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
粒度調整碎石 30～0mm			53.57				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			2.81				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J1] = 10 材料 粒度調整碎石 M-30			[J4] = 110.000 mm 全仕上り厚				
[J5] = 1 施工区分 1層施工			[J7] = 1 費用の内訳 全ての費用				

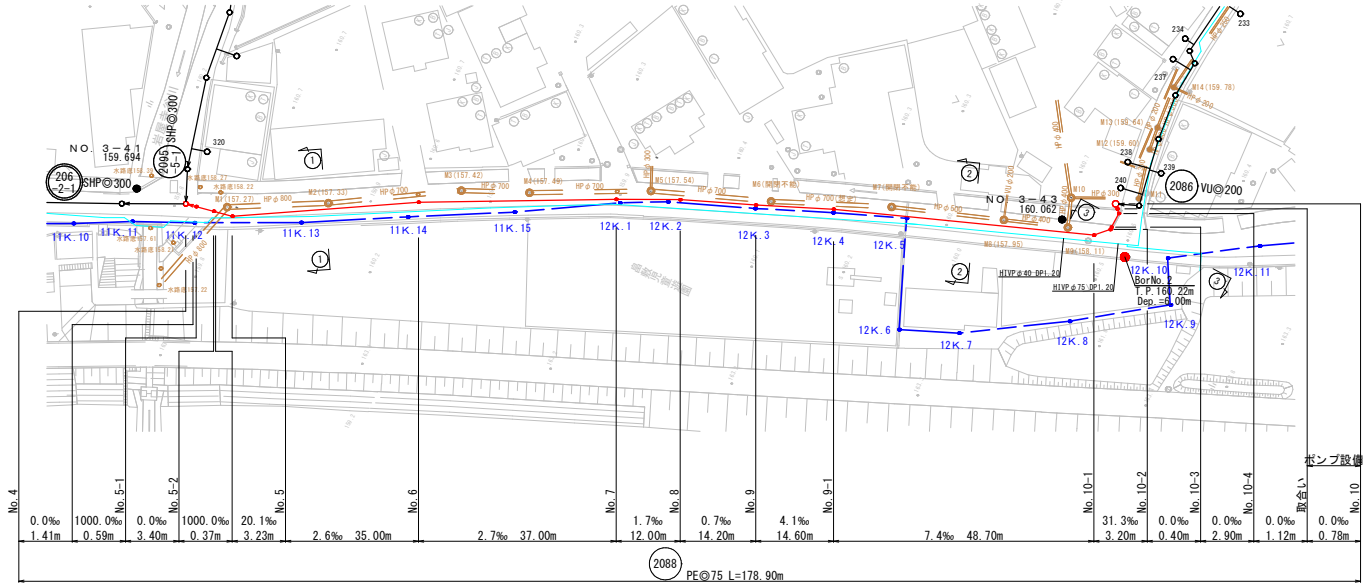
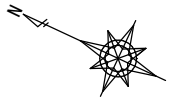
【 第 16 号 施工パッケージ 】							
表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生粗粒度アスコン(20) 小型 (平均幅員1.4m未満 , 瀝青材無 締固密度2.35)							
1	m2	当り					
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			0.42				
振動ロー(舗装用) [ハットカッパ式] 運転質量0.5～0.6t			0.26				
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg			0.14				
その他(機械)							
【労務】			41.93				
特殊作業員			20.47				
普通作業員			14.66				
土木一般世話役			4.43				
その他(労務)							
【材料】			57.65				
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)			57.42				
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			0.18				

【第 16 号 施工パッケージ】 (続 き) 表層(車道・路肩部) 1層当り仕上厚30mm 再生粗粒度アスコン(20) 小型 (平均幅員1.4m未満 , 瀝青材無 締固密度2.35)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			0.04				
その他(材料)							
【端数調整】							
[条件] [J2] = 30.000 mm 1層当り平均仕上り厚			[J1] = 1 平均幅員 1.4m未満 平均仕上厚50mm以下				
[A1] = 12 材料 再生粗粒度アスコン(20)			[J4] = 5 瀝青材料種類 無し				
[J6] = 1 費用の内訳 全ての費用			[A2] = 2 アスファルト混合物小型車割増 小型車割増あり				
[A3] = 1 アスファルト混合物夜間割増 夜間割増なし							

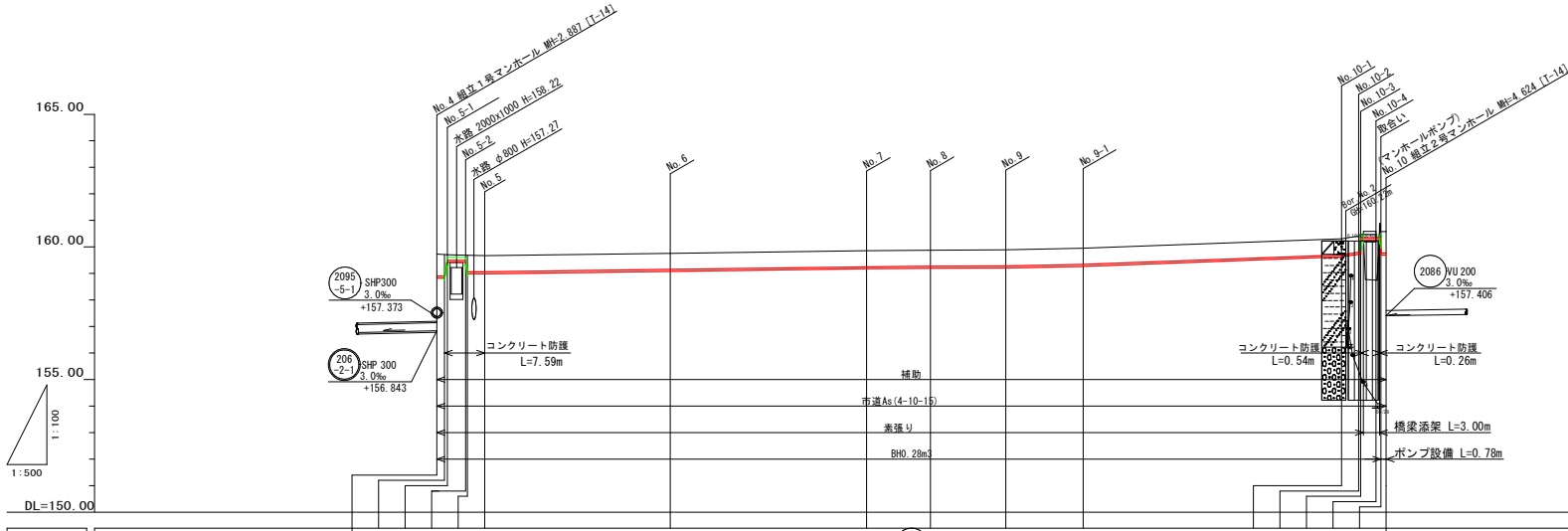
【 第 17 号 施工パッケージ 】							
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂 1 m3 当り (9.5km以下 DID区間無 , タイヤ損耗費(良好)含む)							
名 称 ・ 規 格	金額構成比(%)	金 額	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			45.59				
ダンプトラック[オンロード・デイズール] 10t積級			45.59				
【労務】			39.52				
運転手 (一般)			39.52				
【材料】			14.89				
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油			14.89				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 土砂等発生現場 標準			[J2] = 1 積込機種・規格 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)				
[J3] = 1 土質 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			[J4] = 1 DID区間の有無 DID区間無				
[J5] = 11 運搬距離 9.5km以下							

<div> <div>【 第 18 号 施工パッケージ 】</div> <div>タンパ締固め</div> <div>1 m3 当り</div> </div>							
名 称 ・ 規 格	金額構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】			1.24				
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg			1.24				
【労務】			97.05				
特殊作業員			51.22				
普通作業員			45.83				
【材料】			1.71				
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			1.71				
【端数調整】							
[条件] [J1] = 1 費用の内訳 全ての費用							

平面図 S=1/500

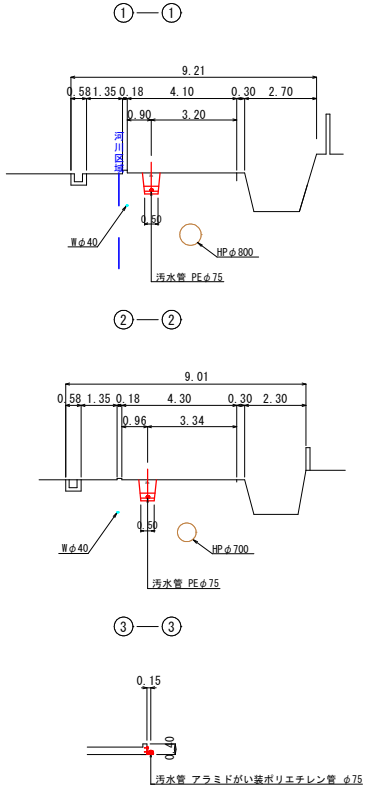


縦断面図 V=1/100
H=1/500

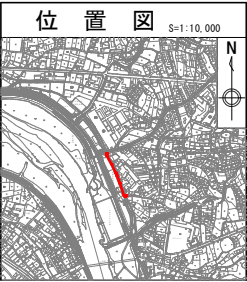


路線番号	2088														
管径	PE75														
勾配	0.0	1000.0	0.0	1000.0	20.1	2.6	2.7	1.7	0.7	4.1	7.4	31.3	0.0		
延長	178.90														
人孔間距離	1.41	0.59	3.40	0.37	3.23	35.00	37.00	12.00	14.20	14.60	48.70	3.20	0.40	2.90	0.78
地盤高	158.827	0.82	159.73	0.82	159.72	159.71	159.69	159.69	159.67	159.67	159.67	159.67	159.67	159.67	159.67
土盛り	1.41	1.00	1.01	0.40	1.01	0.40	0.38	0.75	0.56	0.56	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79
管底高	158.827	0.82	159.73	0.82	159.72	159.71	159.69	159.69	159.67	159.67	159.67	159.67	159.67	159.67	159.67
掘削深	1.01	1.01	1.01	0.40	1.01	0.40	0.38	0.75	0.56	0.56	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79
追加距離	0.00	1.41	2.00	5.40	5.77	9.00	44.00	81.00	93.00	107.20	121.80	170.50	173.70	174.10	177.00

横断面図 S=1/100



位置図 S=1:10,000

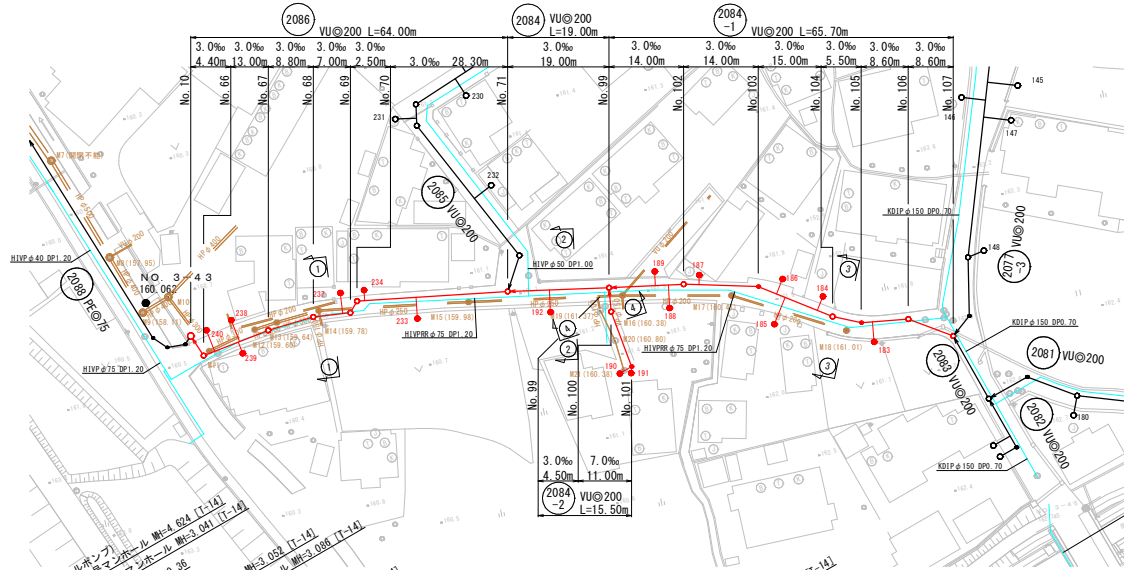


縮尺はA1出力時を示す。

図面番号	/		縮尺	図示	
工種	管渠布設工事（公07-4-6）				
種別	平面図・縦断面図・横断面図	番号	48		
路線名	2088				
工事箇所	三次市最数町地内				

三次市

平面図 S=1/500

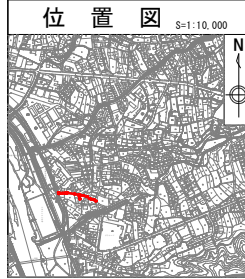
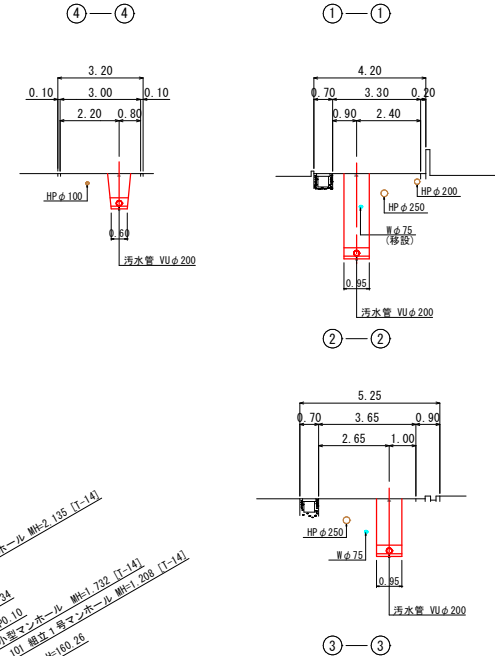


縦断面図 V=1/100
H=1/500



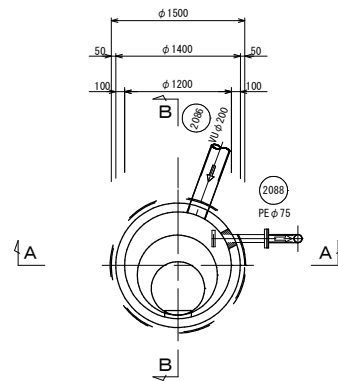
路線番号	2086										2084	2084-1										2084-2
管径	VU200										VU200	VU200										VU200
勾配	3.0										3.0	3.0										3.0
延長	64.00										19.00	65.70										15.50
人孔間距離	4.40	13.00	8.80	7.00	2.50		28.30				19.00	14.00	14.00		15.00	5.50	8.60	8.60				4.50
地盤高																						
土壌																						
管底高																						
管頂高																						
埋設深																						
追加距離																						
0.00	4.40	17.40	26.20	33.20	35.70		64.00				83.00	97.00	111.00	126.00	131.50	140.10	148.70					15.50
159.697	159.697	159.697	159.697	159.697	159.697		159.697				159.424	159.424	159.424	159.424	159.424	159.424	159.424	159.424				159.424

横断面図 S=1/100

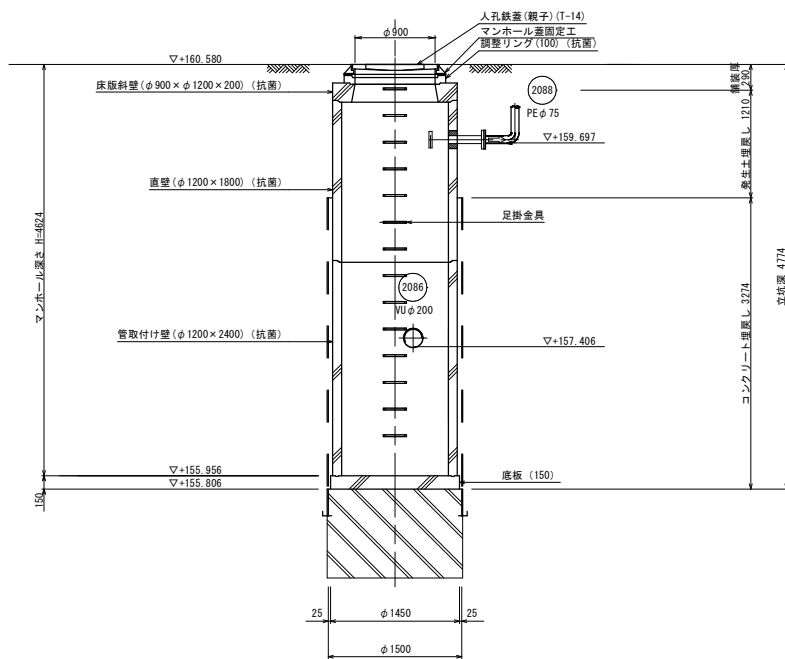


縮尺はA 1出力時を示す。			
図面番号	/	縮尺	図 示
工 種	管渠布設工事（公07-4-6）		
種 別	平面図・縦断面図・横断面図	番 号	49
路 線 名	2086 2084 2084-1 2084-2		
工事箇所	三次市品敷町内		
三 次 市			

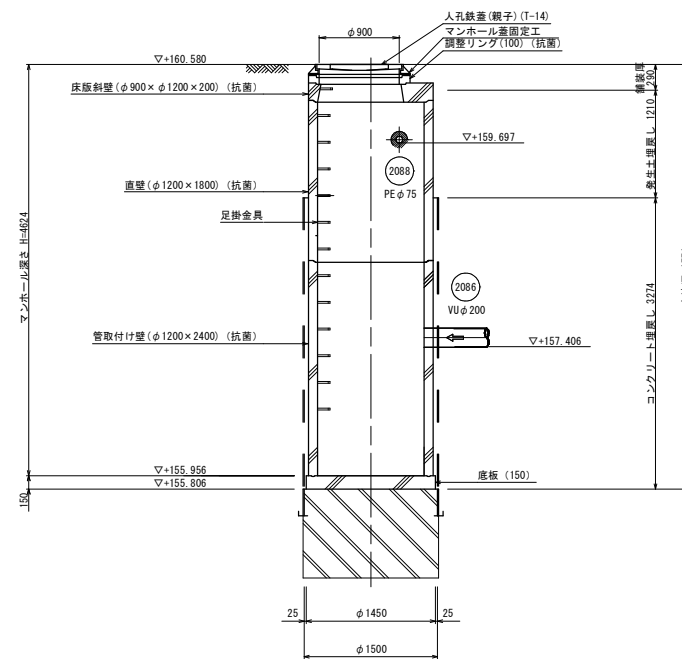
平面図



A-A断面図



B-B断面図

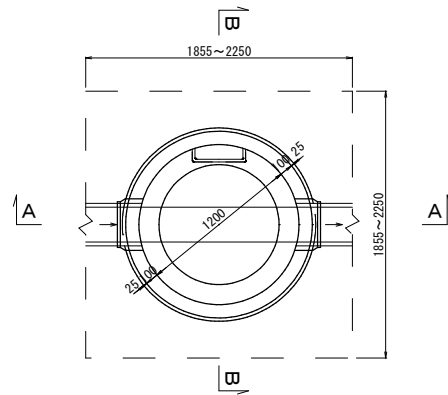


縮尺はA 1出力時を示す。

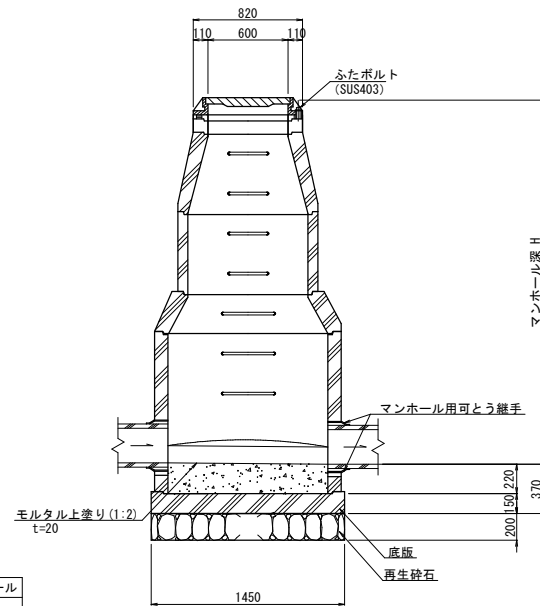
図面番号	/	縮尺	図示
工 種	管渠布設工事 (公07-4-6)		
種 別	No. 10 組立2号マンホール構造図	番 号	115
路 線 名			
工事箇所	三次市畠敷町地内		

三 次 市

平面図



A-A 断面図



数量表

種別	1号マンホール
モルタル上塗り工 (厚2cm)	1.27㎡
インバートコンクリート	0.24㎡
砕石基礎 (厚20cm)	1.65㎡

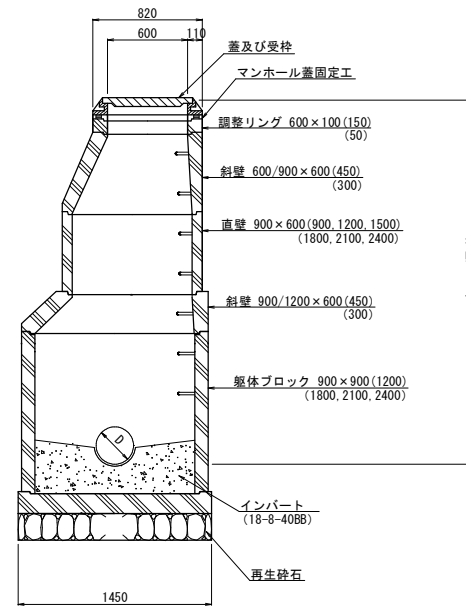
マンホール蓋詳細図

φ 600鉄蓋



※マンホールの蓋は三次市指定（商標の絵柄）のものを使用すること。

B-B 断面図



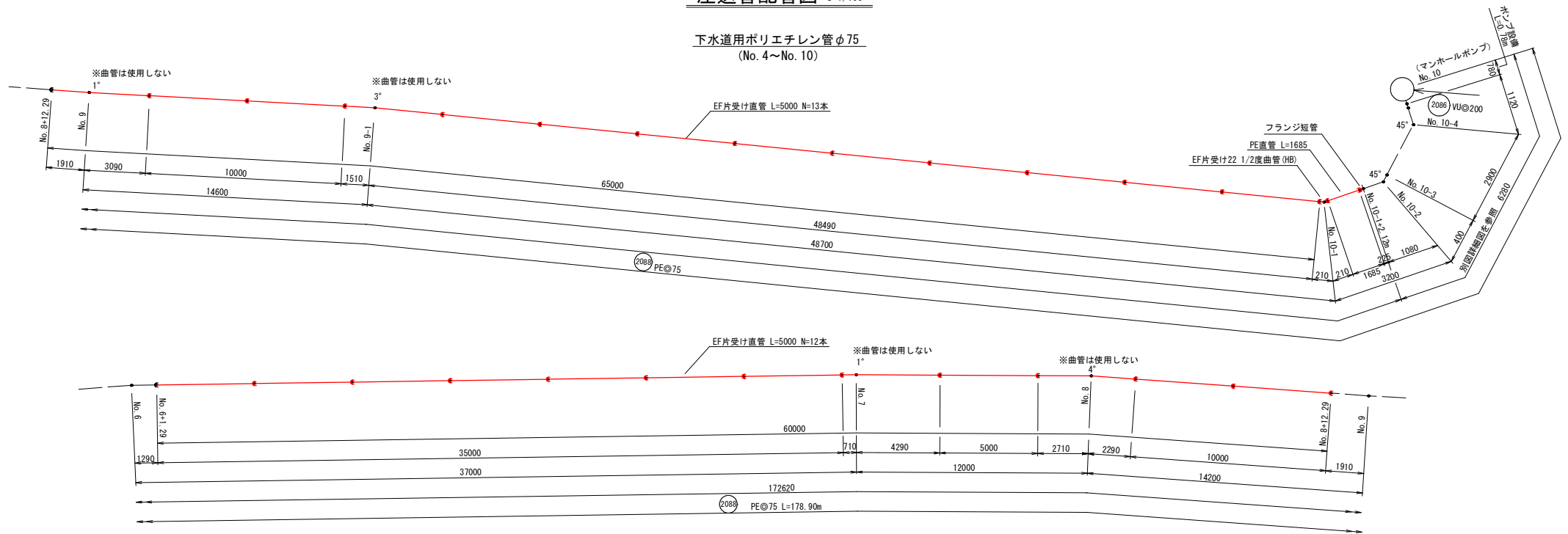
縮尺はA 1出力時を示す。

図面番号	/	縮尺	図示
工種	管渠布設工事 (公07-4-6)		
種別	組立2号マンホール構造図	番号	118
路線名			
工事箇所	三次市島敷町地内		

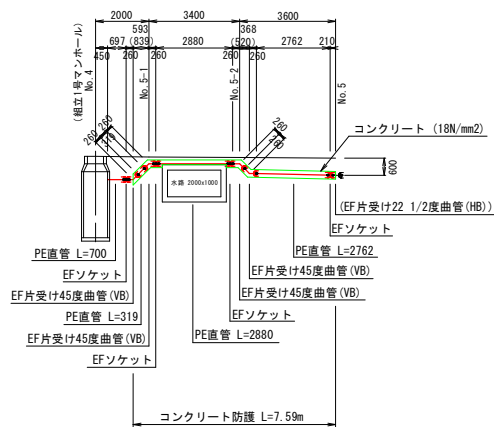
三次市

圧送管配管図 S=1/100

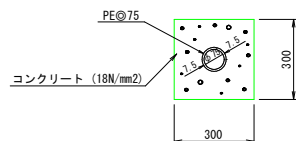
下水道用ポリエチレン管φ75
(No. 4~No. 10)



A詳細図
No. 4~No. 5 詳細図



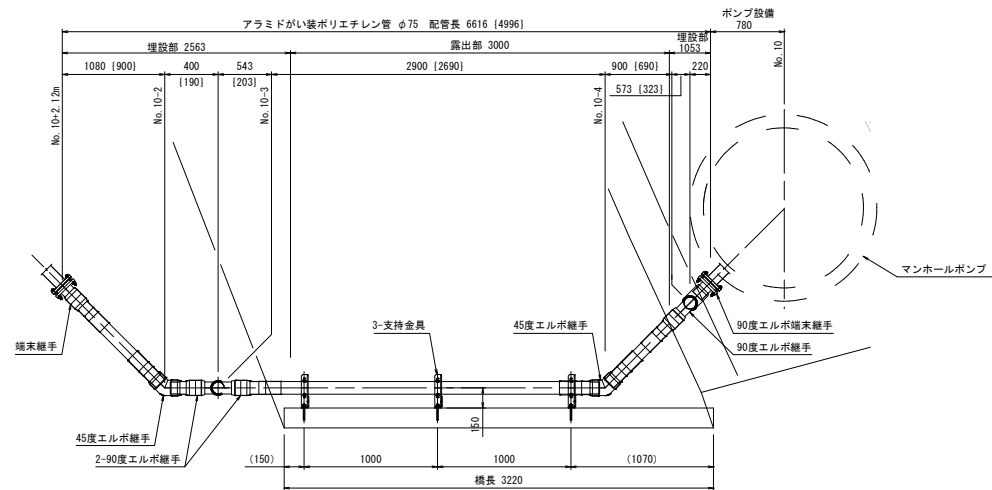
コンクリート防護構造図 S=1/10



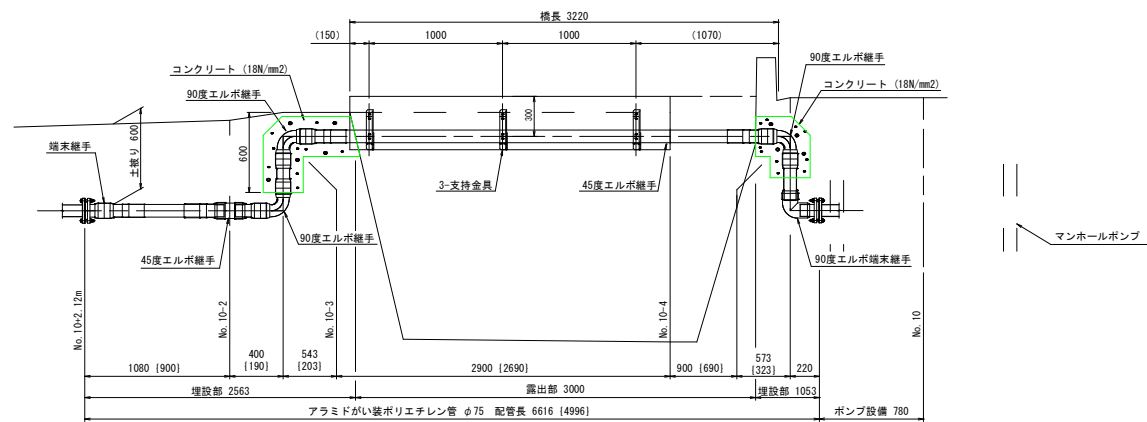
縮尺はA 1出力時を示す

図面番号	/	縮尺	図示
工 種	管渠布設工事 (公07-4-6)		
種 別	圧送配管図	番号	124
路 線 名	(2088)		
工事箇所	三次市島敷町地内		
三 次 市			

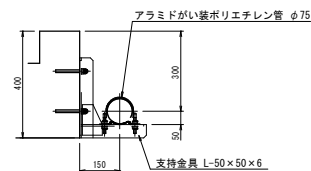
平面図 S=1/20



側面図 S=1/20



断面図 S=1/10



注 記

1. () 寸法は継手を含まない管長を示し、() 寸法は参考寸法を示す。

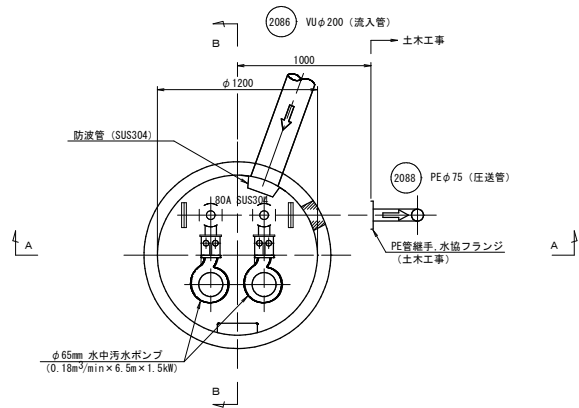
縮尺はA 1 出力時を示す。

図面番号	/	縮尺	図示
工 種	管渠布設工事 (公07-4-6)		
種 別	平面図・側面図・断面図	番 号	125
路 線 名	(2088)		
工事箇所	三次市晶敷町地内		

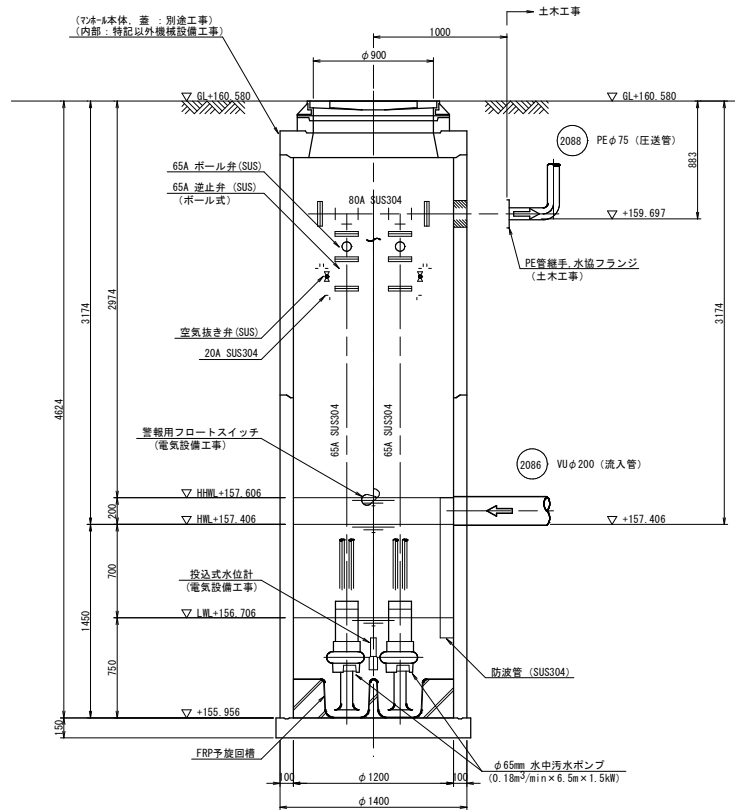
三 次 市

No. 10 マンホールポンプ機械設備図

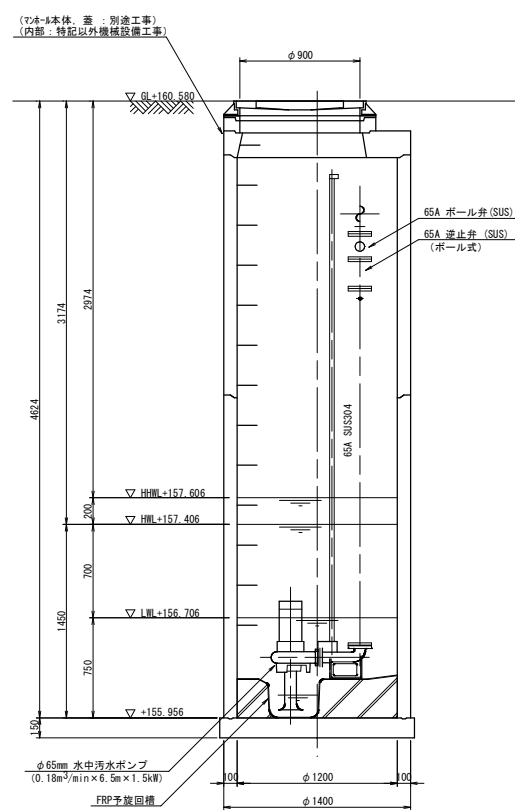
平面図 S=1:20



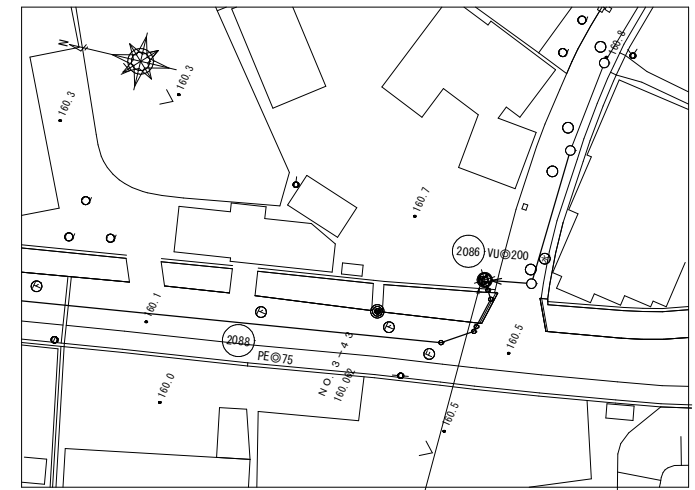
A-A断面図 S=1:20



B-B断面図 S=1:20

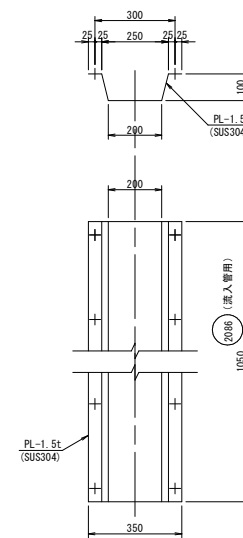


位置図 S=1:250

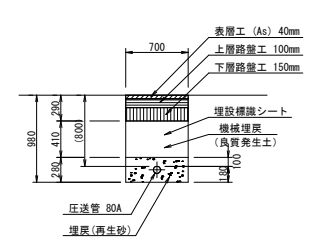


No. 10 マンホールポンプ

防波管参考図 S=1:10



圧送管埋設要領図 S=1:30



縮尺はA 1出力時を示す

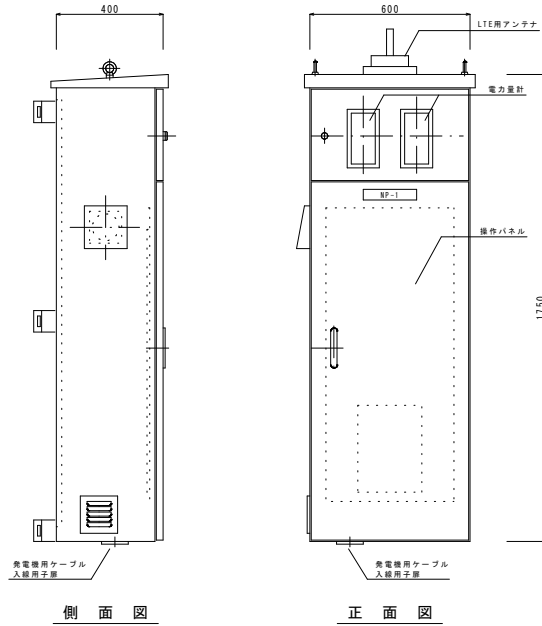
図面番号	/	縮尺	図示
工 種	管渠布設工事 (公07-4-6)		
種 別	No. 10 マンホールポンプ機械設備図		
路 線 名	(2088)		
工事箇所	三次市品敷町地内		

三 次 市

No. 10 マンホールポンプ電気設備図 (1/2)

マンホールポンプ制御盤

S=1/10



側面図

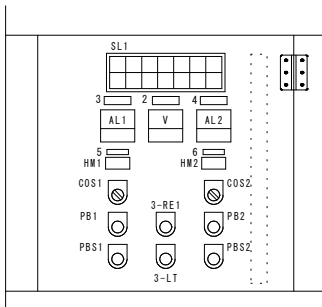
正面図

ルー1集合表示灯詳細

AC200V 電源	No.1 ポンプ 運転	No.1 ポンプ 停止	No.1 ポンプ 3E	No.1 ポンプ 地絡	異常 高水位
AC100V 電源	No.2 ポンプ 運転	No.2 ポンプ 停止	No.2 ポンプ 3E	No.2 ポンプ 地絡	水位計 異常
WL	RL	GL	OL	OL	OL

マンホールポンプ制御盤 製作仕様

構造	屋外柱形
材質	SUS304
板厚	箱体: 2.0mm 扉: 2.0mm
塗装	粉体塗装 外面: 5Y7/1 全艶 内面: 5Y7/1 全艶
備考	形状・寸法は参考とする。

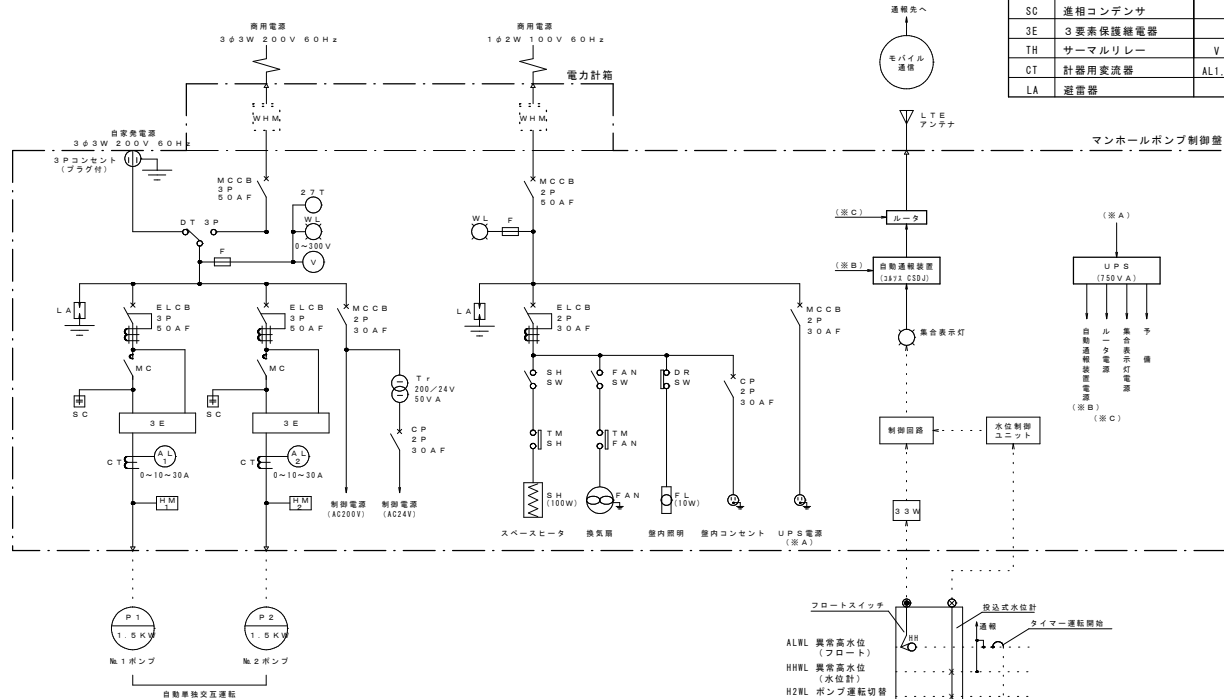


操作パネル面詳細



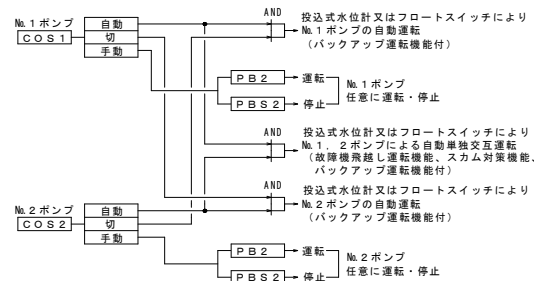
盤内取付

単線結線図



記号	用 語	記号	用 語
WHM	電力量計	27T	停電検出リレー
MCCB	配線用遮断器	Tr	トランス
ELCB	漏電遮断器	WL	表示灯
CP	サーキットプロテクタ	F	ヒューズ
MC	電磁接触器	HM1, 2	運転時間計
SC	進相コンデンサ		
3E	3要素保護継電器		
TH	サーマルリレー	V	交流電圧計
CT	計器用変流器	AL1, 2	交流電流計
LA	避雷器		

運転ブロック図



- 自動運転中、水位が異常高水位に達した場合、タイマーに設定された時間分、ポンプはバックアップ運転を行い、自動停止する。(2台同時運転は行わない。)
- 自動交互運転中、水位がH2WLに達した場合、ポンプを予備機に切り替える。
- 自動運転選択時、スカム対策機能として、一定時間運転水位に達しない場合、タイマーにより強制運転を行う。
- 自動運転中、水位がLWL以下に下がった時点より、タイマーに設定された時間経過後か、またはポンプ電流値が無負荷電流値(メータリレー設定値以下)に下がった時点で、ポンプは自動停止する。
- 自動交互運転中、水位がLWL以下に下がらない場合、タイマーに設定された時間経過後、長時間運転警報を通報する。

縮尺はA1出力時を示す。

図面番号	/	縮尺	図 示
工 種	管渠布設工事（公07-4-6）		
種 別	No.10 マンホールポンプ電気設備図 （1/2）	番 号	129
路 線 名	(2088)		
工事箇所	三次市畠敷町地内		
三 次 市			

機械設備 数量総集計表（総括） (1/2)

(No. 10 マンホールポンプ)

機械設備

[illegible]

機械設備 数量総集計表（総括）（2/2）

（No. 10 マンホールポンプ）

機 械 設 備

種 別	項 目	形状・寸法	摘 要	数量	単位	備 考
複合工費	無筋コンクリート工	$\sigma = 18\text{N/mm}^2$		0.28	m3	
	モルタル仕上工	1 : 3 20mmt		0.05	m2	
	モルタル充填工	1 : 2		0.01	m3	
	型 枠 工	小型構造物		0.05	m2	
	はつり工			0.01	m3	
	掘 削 工	機械		0.38	m3	
	埋 戻 工	（発生土）機械		0.16	m3	
	砂埋戻工	機械（砂）		0.11	m3	
	舗装版切断工	t=200mm以下		1.84	m	
	舗装版取壊工	t=40mm As(既設舗装)	t=100mm以下	0.40	m2	
	表層工	密粒度As t=40mm		0.40	m2	
	上層路盤工	粒調碎石 t=100mm		0.40	m2	
	下層路盤工	切込碎石 t=150mm		0.40	m2	
	残土処理工	（発生土）		0.21	m3	
	産業廃棄物処分工	As 処分費（運搬）		0.02	m3	
	〃	受入費（As殻）		0.04	ton	
労 務 費	一般労務費	普通作業員		1	人	0.14
		設備機械工		1	人	0.05
		配 管 工		4	人	4.75
	機械設備据付労務費	機械設備据付工		1	人	1.34

様式

直接労務費集計表 (1/1)

機 械 設 備

項 目	普通作業員	設備機械工	配 管 工	左 官 工	溶 接 工	はつり工	機械設備据付工		
機器等据付工	0.14	0.05					1.34		
電気機器等据付工									
铸铁管（φ 350以下）据付工									
铸铁管（φ 400以上）据付工									
鋼管据付工									
小配管据付工			4.75						
複 合 工									
合 計 人 工	0.14	0.05	4.75				1.34		
設計書計上人工数	1	1	4				1		

様式

機器等据付工 (1/1)

機械設備

機 器 名 称		数 量	単位重量 X(ton)	類 別	歩 掛		据 付 工		そ の 他 据 付 工			輸送重量 (ton)	備 考
					歩 掛 (人・台)	補 正 率	第1～第6類	第7類 直材	(人)	(人)	(人)		
1	水中汚水ポンプ	2	0.084	2	0.70	－	1.40						
	(着脱式水中汚水ポンプ φ65×1.5kW)			($4.8X^{0.776}$)							
2	FRP予旋回槽	1	0.020	4	0.09	－	0.09						
	(2号マンホール用)			($4.8X$)							
3	鋼製架台類	1	0.012	7	0.05	－		0.05					
				($4.9X$)							
	</												

※. 単位重量は、見積質量とする。

様式

小配管据付工 (1/1)

管種: ステンレス鋼鋼管

機 械 設 備

呼び径 (mm)	屋 内 配 管			屋 外 配 管			埋 設 配 管			呼び径 (mm)
	設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		設計数量 (m)	配 管 工		
		歩掛 (人/m)	人員 (人)		歩掛 (人/m)	人員 (人)		歩掛 (人/m)	人員 (人)	
1 3										1 3
1 5		0.17			0.13			0.07		1 5
2 0	1.320	0.20	0.26		0.16			0.09		2 0
2 5		0.24			0.19			0.11		2 5
3 2		0.29			0.23			0.12		3 2
4 0		0.35			0.28			0.15		4 0
5 0		0.42			0.33			0.19		5 0
6 5	7.128	0.53	3.77		0.42			0.21		6 5
8 0	1.030	0.63	0.64		0.50		0.370	0.24	0.08	8 0
1 0 0		0.78			0.62			0.35		1 0 0
1 2 5		0.96			0.76			0.45		1 2 5
1 5 0		1.14			0.91			0.54		1 5 0
2 0 0		1.50			1.20			0.75		2 0 0
2 5 0		1.86			1.48			1.00		2 5 0
3 0 0		2.22			1.77			1.27		3 0 0
3 5 0		2.58			2.20			1.50		3 5 0
小 計			4.67						0.08	小 計

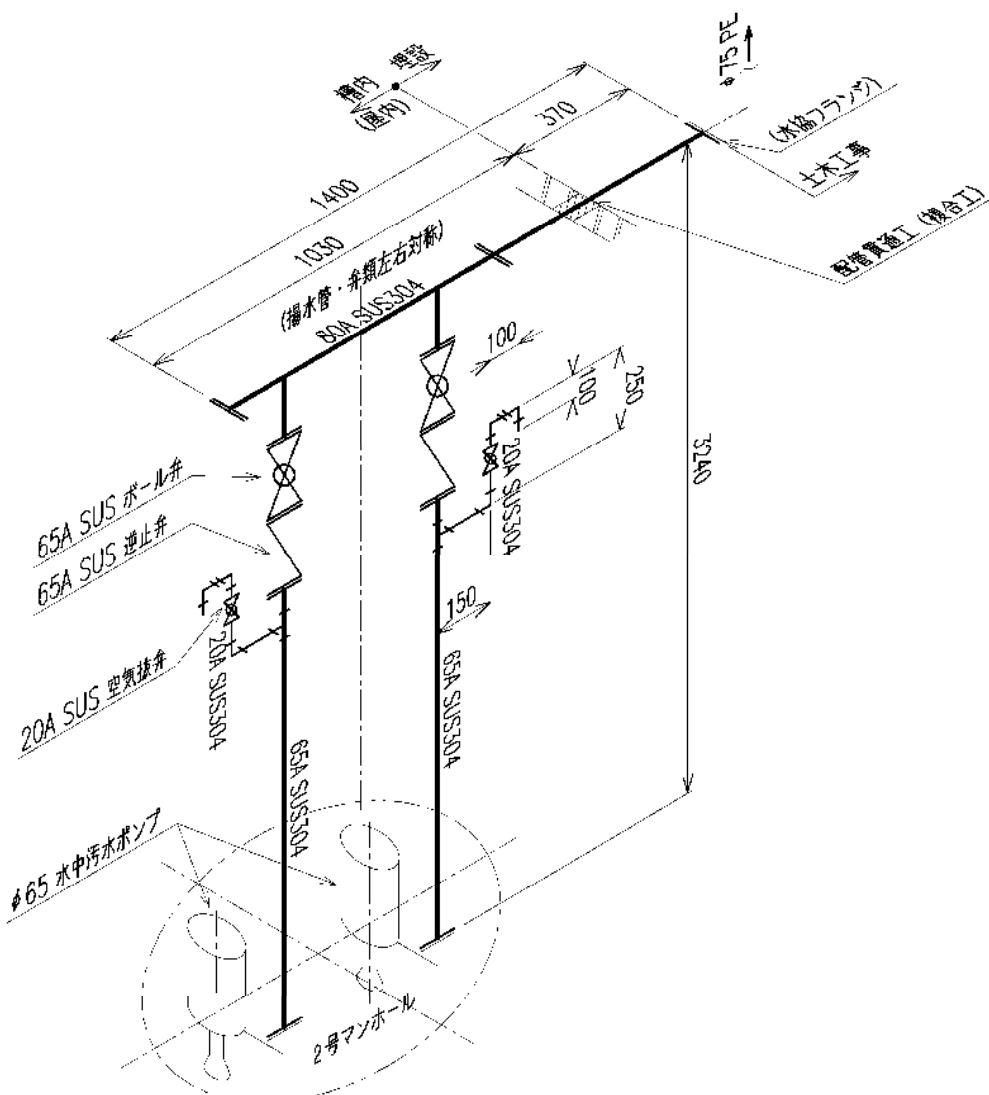
() 計	配管工	4.67+0.08=	4.75 人
-------	-----	------------	--------

[illegible]

[illegible]

小 配 管 計 算 書 (1/1)

機 械 設 備

マンホールポンプ吐出管スケルトン		配管材料等計算表		
		材 料	規格・寸法	数 量
		吐出弁	ボール弁 65A 10kF SUS304(SCS)	2
		逆止弁	ボール式逆止弁 65A 10kF SUS304(SCS)	2
		空気抜弁	(機器付属品) 20A SUS	(2)
		配管用ステン レス鋼鋼管	20A SUS304 TP (Sch20S) (0.15+0.25+0.1+0.1)×2=	1.200 m
			65A SUS304 TP (Sch20S) 3.24×2=	6.480 m
			80A SUS304 TP (Sch20S) 1.03	1.030 m
			80A SUS304 TP (Sch20S) 0.37	0.370 m
		埋設標識シート (複合工計算書より)	0.57	0.570 m
		No. 10 マンホールポンプ		

[illegible]

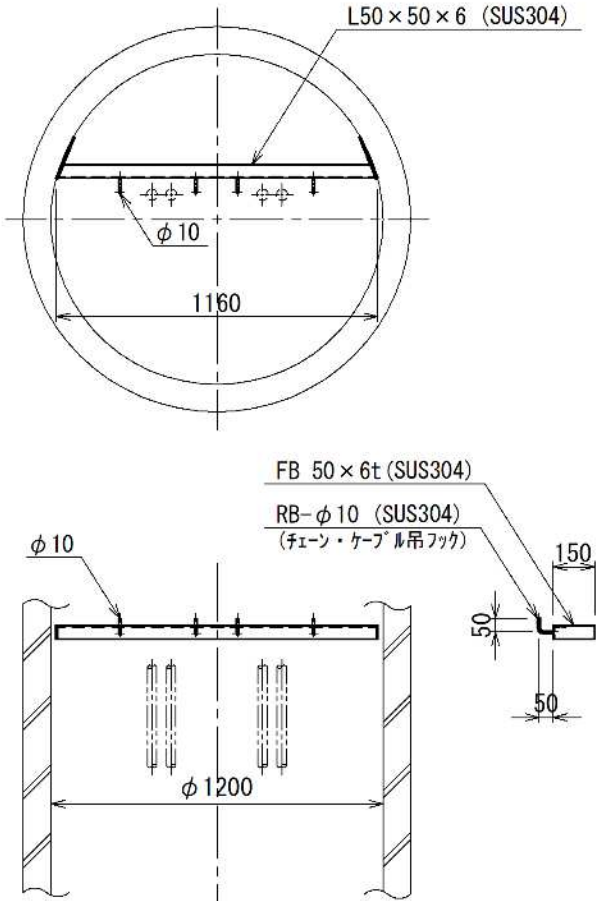
鋼製加工品計算書 (1/2)

機械設備

	流入バップル（流入管2086）	数 量	1	材 料 形 状	重 量 計 算
<div><p>φ1200</p><p>90</p><p>200</p><p>50</p><p>200</p><p>VU φ200 (流入管)</p><p>PL 1.5t (SUS304)</p></div> <div><p>PL 1.5t (SUS304)</p><p>2086</p><p>▽ +157.406</p><p>1050</p><p>150</p><p>LWL ▽ +156.706</p></div>	・ バップル（A）				
	SUS鋼板（S U S 3 0 4）			“A”（0.05×2+0.09×2+0.2）×1.05	= 0.504 m ²
	P L - 1 . 5 t			（重量＝A×単位重量）	
				0.504 m2×@11.9kg/m2	= 5.998 kg
		</			

鋼製加工品計算書 (2/2)

機械設備

ガイドホルダ取付金具	数 量	1	材 料 形 状	重 量 計 算		
<div></div>			L形鋼（S U S 3 0 4）	1.16×@4.48kg/m＝	5.197 kg	
			L 5 0 × 5 0 × 6			
			平鋼（S U S 3 0 4）	0.15×@2.38kg/m×2＝	0.714 kg	
			F B 5 0 × 6 t			
			丸鋼（S U S 3 0 4）	{ (0.05+0.05) × 4 } × @0.623kg/m＝	0.249 kg	
			φ 1 0			
					(小計)	6.160 kg

様式

複合工集計表 (1/2)

機 械 設 備

No.	鉄 筋 コンクリート工 24N/mm ² (m ³)	無 筋 コンクリート工 18N/mm ² (m ³)	モルタル仕上工		モルタル 充填工 (1 : 2) (m ³)	鉄筋工 SD295 (kg)	金ゴテ 押え工 (m ²)	コンクリート 防食塗装 (m ²)	型 枠 工			砕石基礎工 (再生砕石) t = 100mm (m ²)	鋼管切断 (m)		はつり工 (m ³)
			厚20mm (1 : 3) (m ²)	厚50mm (1 : 3) (m ²)					鉄筋 (m ²)	無筋 (m ²)	小型構造物 (m ²)				
1		0.281													
2			0.053		0.003						0.053				0.003
計		0.281	0.053		0.003						0.053				0.003
計上		0.28	0.05		0.01						0.05				0.01

様式

複合工集計表 (2/2)

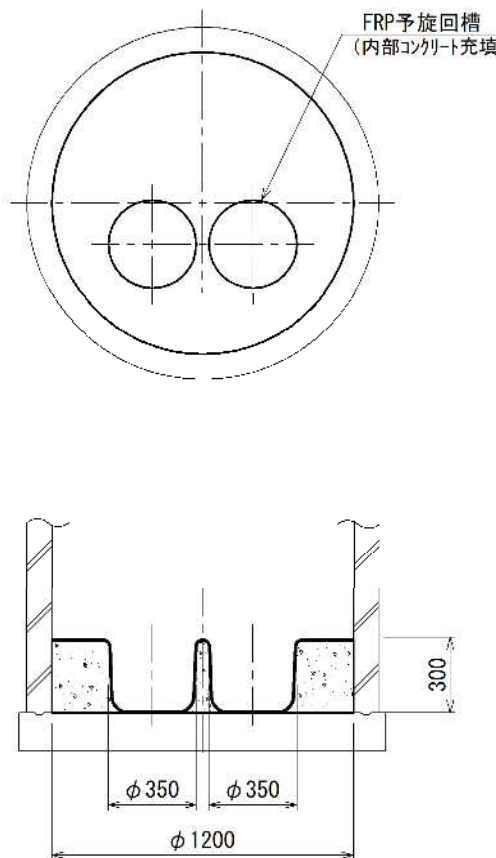
機 械 設 備

No.	掘削工 (機械) (m ³)	掘削工 (人力) (m ³)	埋戻工 (発生土) (機械) (m ³)	埋戻工 砂 (機械) (m ³)	舗装版切断工		舗装版取壊工		表層工		上層路盤工 (粒調碎石)	下層路盤工 (切込碎石)	残 土 処理工 (m ³)	産業廃棄物 (As) 処分費 (m ³)	産業廃棄物 (As) × 2.35 受入費 (ton)
					As200mm以下 t = 40mm (m)	t = mm (m)	As t = 40mm (m ²)	As t = mm (m ²)	(密粒度As) t = 40mm (m ²)	As仮舗装 t = 30mm (m ²)	t = 100mm (m ²)	t = 150mm (m ²)			
3	0.375		0.164	0.109	1.840		0.399		0.399		0.399	0.399	0.211	0.016	0.038
計	0.375		0.164	0.109	1.840		0.399		0.399		0.399	0.399	0.211	0.016	0.038
計上	0.38		0.16	0.11	1.84		0.40		0.40		0.40	0.40	0.21	0.02	0.04

複合工計算書 (1/3)

機 械 設 備

No.	1	数 量	1 箇所	コンクリート		無筋	掘削	
名 称	予旋回槽部コンクリート			$\pi \times 1.2^2 / 4 \times 0.3$		0.281 (m ³)		(m ³)
				$-(\pi \times 0.35^2 / 4 \times 2 \times 0.3)$				
				= 0.281				
				モルタル充填		(m ³)	埋め戻し	(m ³)
				モルタル仕上		(m ²)	型枠	(m ²)
				はつり工		(m ³)	砕石	(m ³)
						(m ³)		(m ³)



FRP予旋回槽
(内部コンクリート充填)

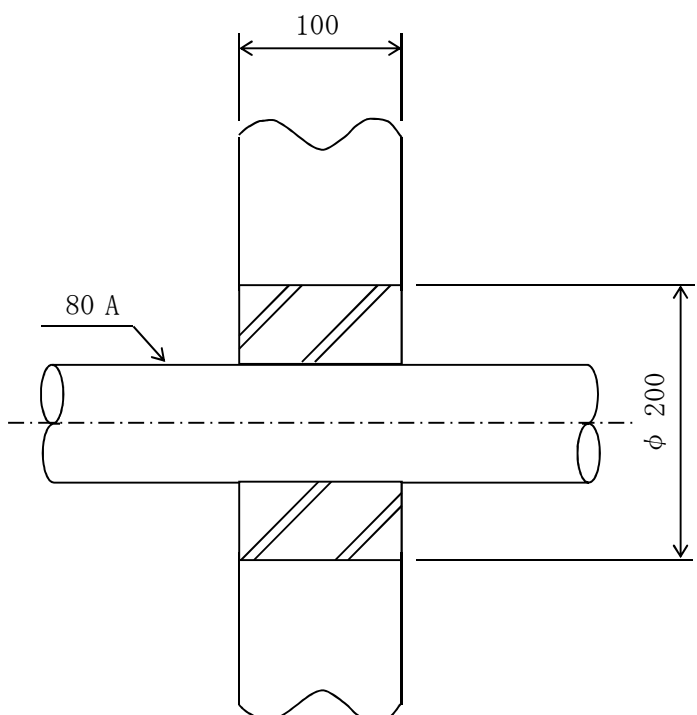
300

φ 350 φ 350

φ 1200

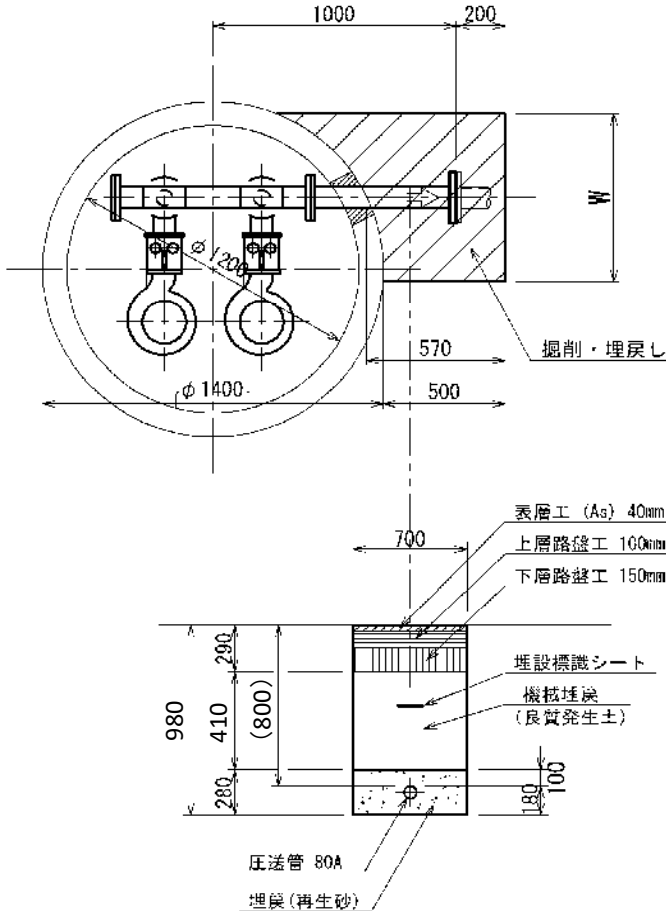
複合工計算書 (2/3)

機 械 設 備

No.	1	数 量	1 箇所	コンクリート	鉄筋・無筋		
名 称	配管貫通工						
							
						(m ³)	
				モルタル充填			
				(0.20 ² - 0.08 ²) × π/4 × 0.1	0.003		
				= 0.0026			
						(m ³)	
				モルタル仕上			
				(0.20 ² - 0.08 ²) × π/4 × 2	0.053		
				= 0.0528			
						(m ²)	
				型枠			
				(0.20 ² - 0.08 ²) × π/4 × 2	0.053		
				= 0.0528			
						(m ²)	
はつり工							
0.20 ² × π/4 × 0.1	0.003						
= 0.0031							
		(m ³)					

複合工計算書 (3/3)

機 械 設 備

No.	3	数 量	1 式	舗装版切断工		上層路盤工	
名 称	圧送管埋設工			0.57×2+0.7(既設 t=40mm)		0.7×0.57	
				= 1.840		= 0.399	t=100mm
						(粒調碎石)	0.399
							(m ²)
				舗装版取壊工		下層路盤工	
				0.7×0.57 (既設 t=40mm)		0.7×0.57	
				= 0.399		= 0.399	t=150mm
						(切込碎石)	0.399
							(m ²)
				掘削工		表層工	
				0.7×(0.98-0.04)×0.57	(機械)	0.7×0.57	t=40mm
				= 0.375		= 0.399	0.399
						(密粒度As)	(m ²)
				砂埋戻工		残土処理工	
				(0.7×0.28-0.08 ² ×π/4)×0.57	(機械)	掘削工-埋戻工(発生土)	
				= 0.109	(砂)	0.375-0.164	
						= 0.211	0.211
			(m ³)				
埋戻工		アスファルト処分工					
0.7×0.41×0.57	(発生土)	産業廃棄物処分費	0.016				
= 0.164		(0.7×0.57)×0.04	(m ³)				
埋設標識シート(150W ダブル)		= 0.016	受入費				
0.57 m {小配管計算書 (1/1) へ計上}		(既設40mm) (×2.35)	0.038t				

数量総集計表 (No.10)

種 別	項 目	形状・寸法	摘 要	数量	単位	備 考
機器費	ポンプ制御盤	SUS製屋外装柱形		1	面	
	U P S	750VA		1	台	
	自動通報装置	LTE通信回線		1	台	
	投込式水位計			1	組	
直接材料費	低圧ケーブル	600V EM-CE 3.5sq-3c		7.8	m	
		600V EM-CE 5.5sq-2c		7.3	m	
		同上付属材料費	(×0.015)	1	式	
	その他電線	EM-IE 5.5sq		4.4	m	
		同上付属材料費	(×0.015)	1	式	
	電線管類	ポリエチレン管(露出) PE36		0.5	m	
		〃 PE28		1.0	m	
		〃 PE22		13.1	m	
		同上付属材料費	(×1.45)	1	式	
		波付硬質合成樹脂管 FEP40		4.2	m	
		〃 FEP30		8.4	m	
		同上付属材料費	(×0.30)	1	式	
		硬質ビニル電線管(埋込) VE16		2.9	m	
		同上付属材料費	(×0.35)	1	式	
		硬質ビニル電線管(露出) VE16		0.5	m	
		同上付属材料費	(×0.95)	1	式	
		ケーブル埋設標識シート シングル 150W		2.7	m	

数量総集計表 (No.10)

種 別	項 目	形状・寸法	摘 要	数量	単位	備 考
	接地装置	接地棒 φ14×1500		2	本	
		接地棒用リット端子 φ14用		2	本	
	電柱装柱材	コンクリート柱 8m-19cm-3.5kN		1	本	
		ポール底板 丸型No.1		1	枚	
		自在バント 引留用 3BD-HD17		2	個	
		〃 CP用 IBT-208		8	個	
		足場ボルト CP用		8	本	
		エントランスキャップ φ22		2	個	
		スパイラル管 φ400		1.3	m	
	その他材料	フオートスイッチ (フリクト)		1	個	
労 務 費	一般労務費	電 工 (据付)		9	人	
		普通作業員 (据付)		1	人	
	技術労務費	技術者 (据付)		2	人	
		技術者 (単体調整)		1	人	
複 合 工	無筋コンクリート工	18N		1	m3	
	捨てコンクリート工	18N		0.09	m3	
	基礎砕石工	t=100mm		1.84	m2	
	型枠工			7.19	m2	
	砂充填工			0.08	m3	
	モルタル充填工	(1:2)		0.01	m3	

人 工 集 計 表

No.	名 称	据付・配線工						単体調整		試験工				備 考
		技術者	電 工	普 通				技術者		技術者	電 工			
	[電気設備工]													
1	機器据付工	1.75	4.540					1.3						
2	材料集計表 (1/5)		0.684											
	材料集計表 (2/5)		0.359											
	材料集計表 (3/5)		1.870											
	材料集計表 (4/5)		0.348	0.130										
	材料集計表 (5/5)	0.60	1.670											
	計	2.35	9.471	0.130				1.3						
合計 (端数処理)		人 2	人 9	人 1				人 1		人	人			

機 器 据 付 工 集 計 表

No.	名 称	単位	数量	技術者		電 工						技術者単体調整		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	
1	ポンプ制御盤	面	1		1.2		2.1							現場盤 8 壁掛・スタンド
2	UPS	台	1				0.74							汎用ミニUPS
3	自動通報装置	台	1		0.14		0.4							非常通報装置
4	投込式水位計	組	1		0.41		1.3						1.3	発信器類
計				1.75		4.54						1.3		

配線材料集計表(1/5)

[illegible]

電工= 0.684

配線材料集計表(3/5)

No.	電 線 管																	
			PE 36mm		PE 28mm		PE 22mm				FEP 40mm		FEP 30mm				VE 16mm	
	埋込	露出	埋込	露出	埋込	露出	埋込	露出	埋込		埋込		埋込		埋込	露出	埋込	露出
1								6.8										
2								6.3										
3																	2.9	0.5
4						0.5							4.2					
5						0.5							4.2					
6				0.5							4.2							
7																		

電工＝

1.870

配線材料集計表(4/5)

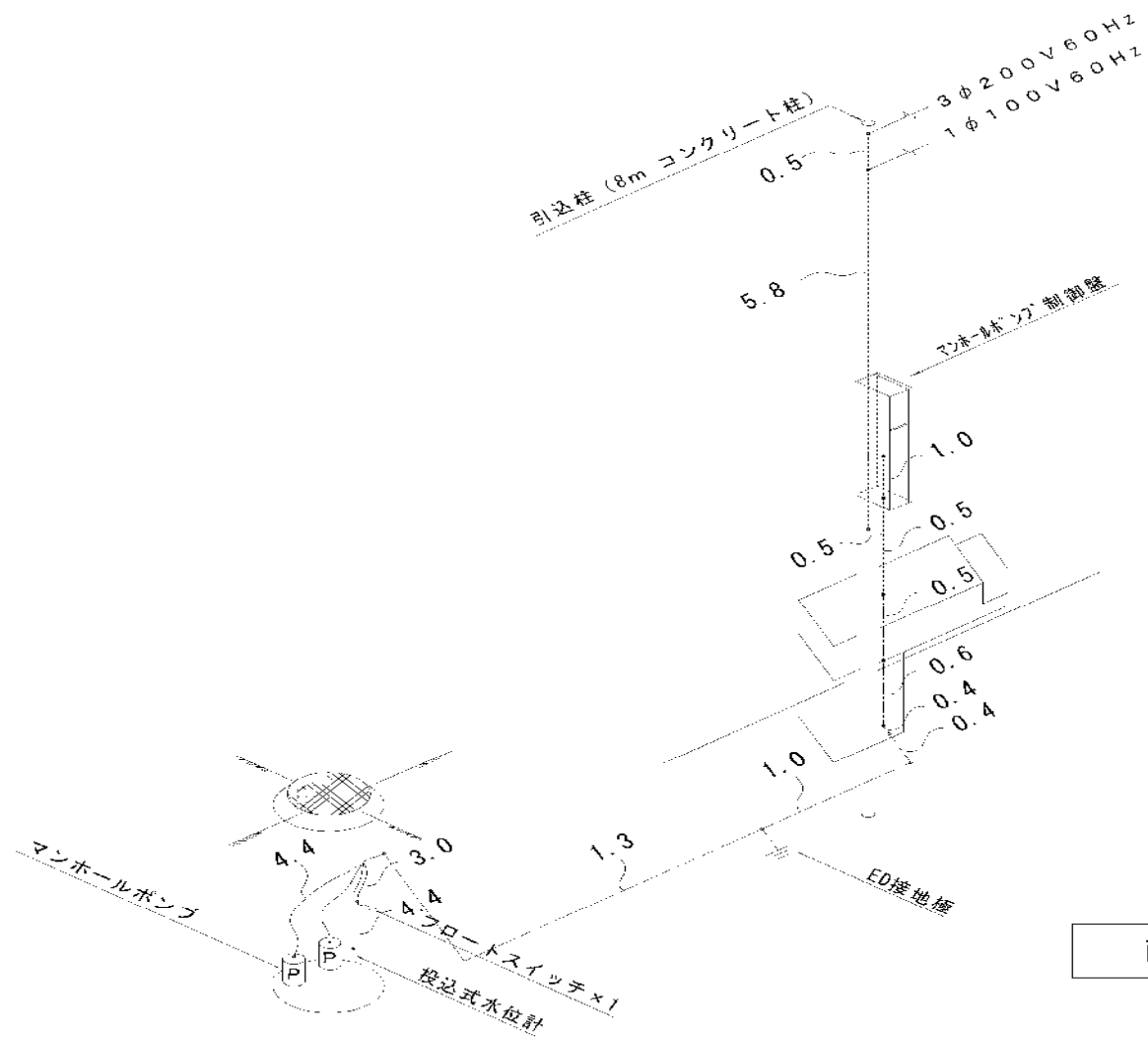
[illegible]

拾 い 出 し 根 拠 表 (1 / 2)

No.	自	至	種類	配線経路	合計	計 算	備 考
1	引 込 柱	ポンプ制御盤 (200V)	600V EM-CE 3.5sq-3c	P&D	1	1	引込柱 1 式 スパイラル管 1.3 m
				R			
				CP	6.8	0.5 + 5.8 + 0.5	
				FEP			
				P&D			
				CP			
			PE 22mm	埋込			
				露出	6.8	0.5 + 5.8 + 0.5	
2	引 込 柱	ポンプ制御盤 (100V)	600V EM-CE 5.5sq-2c	P&D	1	1	
				R			
				CP	6.3	5.8 + 0.5	
				FEP			
				P&D			
				CP			
			PE 22mm	埋込			
				露出	6.3	5.8 + 0.5	
3	ポンプ制御盤	ED接地極		P&D			接地棒 2 本
				R			
				CP			
				FEP			
			EM-IE 5.5sq	P&D	1	1	
				CP	3.4	0.5 + 0.5 + 0.6 + 0.4 + 0.4 + 1	
			VE 16mm	埋込	2.9	0.5 + 0.6 + 0.4 + 0.4 + 1	
				露出	0.5	0.5	
4	ポンプ制御盤	マンホール (No.1ポンプ動力)	付属ケーブル VCT 1.25sq-4c	P&D	5.4	1 + 4.4	ケーブル埋設シート 2.7 m
				R			
				CP	0.5	0.5	
				FEP	4.2	0.5 + 0.6 + 0.4 + 0.4 + 1 + 1.3	
				P&D			
				CP			
			FEP 30mm	埋込	4.2	0.5 + 0.6 + 0.4 + 0.4 + 1 + 1.3	
			PE 28mm	露出	0.5	0.5	
5	ポンプ制御盤	マンホール (No.2ポンプ動力)	付属ケーブル VCT 1.25sq-4c	P&D	5.4	1 + 4.4	
				R			
				CP	0.5	0.5	
				FEP	4.2	0.5 + 0.6 + 0.4 + 0.4 + 1 + 1.3	
				P&D			
				CP			
			FEP 30mm	埋込	4.2	0.5 + 0.6 + 0.4 + 0.4 + 1 + 1.3	
			PE 28mm	露出	0.5	0.5	

拾 い 出 し 根 拠 表 (2 / 2)

No.	自	至	種類	配線経路	合計	計 算	備 考
6	ポンプ制御盤	マンホール (投込式水位計)	付属ケーブル CVV-S 1.25sq-4c 相当	P&D	5.4	1 + 4.4	No.6, 7 : 共通配管
				R			
				CP	0.5	0.5	
				FEP	4.2	0.5 + 0.6 + 0.4 + 0.4 + 1 + 1.3	
			FEP 40mm PE 36mm	P&D			
				CP			
				埋込	4.2	0.5 + 0.6 + 0.4 + 0.4 + 1 + 1.3	
				露出	0.5	0.5	
7	ポンプ制御盤	マンホール (フリクト)	付属ケーブル CVV 2sq-3c 相当	P&D	4	1 + 3	フリクト 1 個
				R			
				CP	0.5	0.5	
				FEP	4.2	0.5 + 0.6 + 0.4 + 0.4 + 1 + 1.3	
				P&D			
				CP			
				埋込			
				露出			
				P&D			
				R			
				CP			
				FEP			
				P&D			
				CP			
				埋込			
				露出			
				P&D			
				R			
				CP			
				FEP			
				P&D			
				CP			
				埋込			
				露出			
				P&D			
				R			
				CP			
				FEP			
				P&D			
				CP			
				埋込			
				露出			



配線スケルトン

複 合 工 集 計 表 (1 / 2)

工種 名称		無 筋 コンクリート工 18N m3	捨 て コンクリート工 18N m3	基 礎 砕石工 t=100mm m2	型枠工 m2	砂 充填工 m3	モルタル 充填工 (1:2) m3					アスファルト			
												舗 装 切断工 m	舗装版 破碎工 t=40mm m2	ガラ 処分 m3	
計算書No. 1		1.00	0.09	1.84	7.19	0.08	0.01					5.60	4.48	0.27	
計算書No. 2												4.60	2.30	0.12	
計		1.00	0.09	1.84	7.19	0.08	0.01					10.20	6.78	0.39	
設計数量		1.00	0.09	1.84	7.19	0.08	0.01					10.2	6.78	0.39	

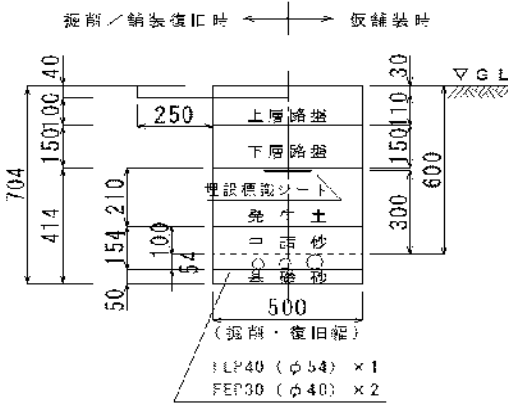
複 合 工 集 計 表 (2 / 2)

工種 名称	掘 削		埋戻し			路盤復旧		仮舗装	仮舗装版	本舗装の	舗装復旧		残 土	穴あけ工	
		機 械	砂基礎	中詰砂	発生土	下層路盤 t=150mm	上層路盤 t=110mm	t=30mm	破碎工 t=30mm	為の掘削		As4	処 理	φ 200	
		m3	m3	m3	m3	m2	m2	m2	m2	m3		m2	m3	箇所	
計算書No. 1		2.62			0.86	2.88	2.88	2.88	2.88	0.03		2.88	1.66		
計算書No. 2		0.76	0.06	0.18	0.24	1.15	1.15	1.15	1.15	0.01		2.30	0.50	1	
計		3.38	0.06	0.18	1.10	4.03	4.03	4.03	4.03	0.04		5.18	2.16	1	
設計数量		3.38	0.06	0.18	1.10	4.03	4.03	4.03	4.03	0.04		5.18	2.16	1	

複 合 工 計 算 書 No. 1 (1 / 2)

引込柱基礎工	数 量	1 基	数 量 計 算			
<p>平面図</p> <p>断面図</p> <p>設計/調査/旧時 (AS 10 15) ・道路幅 : 4.0m (四車道アスコン) ・上層厚 : 150mm ・下層厚 : 150mm</p> <p>設計/調査/旧時 (AS 11 15) ・道路幅 : 5.0m (四車道アスコン) ・上層厚 : 110mm ・下層厚 : 150mm</p> <p>設計/調査/旧時 → 設計/調査</p>	アスファルト舗装切断工		2.8 × 2	=	5.6	5.6 m
	アスファルト舗装版破碎工 (t=40mm)		2.8 × 1.6 2.8 × 1.6 × 0.04	=	4.48 0.179	4.48 m ² 0.18 m ³
	アスファルトカマ処分		0.18 + 0.09	=	0.27	0.27 m ³
	掘削工 (機械)		1.4 × 1.6 × 0.76 + 1.4 × 1.6 × 0.41	=	2.62	2.62 m ³
	無筋コンクリート工		2 × 0.8 × 0.8 - 0.3 × 0.8 × 0.25 + 0.6 × 0.6 × 0.51 - π/4 × 0.4 × 1.3	=	0.995	1 m ³
	捨てコンクリート工		(2.2 × 1 - 0.6 × 0.6) × 0.05	=	0.092	0.09 m ³
	基礎砕石工 (t=100mm)		2.2 × 1 - 0.6 × 0.6	=	1.84	1.84 m ²
	型枠工		(2 + 0.8) × 2 × 0.8 - 0.3 × 0.25 × 2 + (0.6 + 0.6) × 2 × 0.51 + π × 0.4 × 1.3	=	7.187	7.19 m ²
	砂充填工		π/4 × (0.4 ² - 0.278 ²) × 1.2	=	0.077	0.08 m ³
	モルタル充填工		π/4 × (0.4 ² - 0.278 ²) × 0.1	=	0.006	0.01 m ³
	埋戻工 (発生土)		0.3 × 1.6 × 0.51 + 0.1 × (0.8 + 1.1 + 1.1) × 0.36 + 1.1 × 0.3 × 0.51 × 2 + 1.1 × 0.3 × 0.15 × 2 + 0.3 × 1.6 × 0.15	=	0.86	0.86 m ³
	下層路盤復旧 (t=150mm)		2.8 × 1.6 - 2 × 0.8	=	2.88	2.88 m ²
	上層路盤復旧 (t=110mm)					2.88 m ²

引込柱基礎工		数 量	1 基	数 量 計 算				
				仮舗装 (t=30mm)				2.88 m2
				仮舗装版破碎工 (t=30mm)	2.88	×	0.03	<div><div>2.88 m2</div><div>0.09 m3</div></div>
				本舗装の為の掘削 (t=10mm)	2.88	×	0.01	<div><div></div><div>0.03 m3</div></div>
				舗装復旧 (As4)				2.88 m2
				残土処理	2.62	－	0.86 ÷ 0.9	<div><div></div><div>1.66 m3</div></div>

電線管理設工（制御盤～MP）	数 量	1 式	数 量 計 算							
L = 2.3 m										
掘削／舗装復旧時（AS4 10 15） ・表層：40mm（密粒度アスコン） ・上層路盤：100mm ・下層路盤：150mm		仮舗装時（AS3 11 15） ・表層：30mm（粗粒度アスコン） ・上層路盤：110mm ・下層路盤：150mm								
										
アスファルト舗装切断工	2.3	×	2	=	4.6	4.6 m				
アスファルト舗装版破碎工 (t=40mm)	1	×	2.3	=	2.3	2.3 m2				
	1	×	2.3	×	0.04	0.09 m3				
アスファルトガラ処分	0.09	+	0.03	=	0.12	0.12 m3				
掘削工 (機械)	(0.5 + 0.5) 2			×	0.664	×	2.3	=	0.763	0.76 m3
埋戻工 (砂基礎)	(0.5 + 0.5) 2			×	0.05	×	2.3	=	0.057	0.06 m3
埋戻工 (中詰砂)	(0.5 + 0.5) 2			×	0.154	×	2.3	=	0.177	0.18 m3
埋戻工 (発生土)	(0.5 + 0.5) 2			×	0.21	×	2.3	=	0.241	0.24 m3
下層路盤復旧 (t=150mm)	(0.5 + 0.5) 2			×	2.3	=	1.15	1.15 m2		
上層路盤復旧 (t=110mm)									1.15 m2	
仮舗装 (t=30mm)									1.15 m2	
仮舗装版破碎工 (t=30mm)	0.5			×	2.3	=	1.15	1.15 m2		
	0.5	×	0.03	×	2.3	=	0.034	0.03 m3		
本舗装の為掘削 (t=10mm)	0.5	×	0.01	×	2.3	=	0.011	0.01 m3		
舗装復旧 (As4)									2.3 m2	
残土処理	0.763	-	0.241	÷	0.9	=	0.495	0.5 m3		
穴あけ工 (φ200)									1 箇所	